令和２年度

上伊那採択地区協議会　資料

（教科用図書の調査研究報告）

国　　語

書　　写

社　　会

地　図　帳

数　　学

理　　科

音　　楽

美　　術

保　健　体　育

技　　術

家　　庭

英　　語

道　　徳

【 国　語 】

東京書籍
三省堂
教育出版
光村図書

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　国語　]

発行者名 選定基準	光村図書（国語１～３）
教科の目標からの配慮	○　「学習」などにおいて、多様な言語活動を組み込んだ学習過程を提示し、対話を通して、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫している。 ○　身近な言語文化に関わる教材を多く取り上げ、言語感覚を豊かにしながら、社会生活で生かせるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 生徒の発達段階に応じて段階的、系統的かつ軽重をつけて学べるよう教材配置するとともに、幅広い分野から題材を集め、生徒の学習意欲が喚起されるよう配慮している。 (2) 日常生活や知的好奇心を喚起するものなどに基づいた言語活動を設定し、主体的・対話的な学習が促されるよう工夫している。 (3) 発達段階に応じて字詰めや行詰めをしたり、手書き文字に近いフォントを使ったりするなど、読みやすさへの配慮をしている。 (4) 「学習の窓」の掲載位置を単元に応じて変えるなどして、内容理解の助けを得ながら、自ら思考力を高められるよう工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 生徒の発達段階にあわせて、また、系統的に学習ができるようにバランスよく教材を配置している。 (2) 「読むこと」の領域において、「学習」の最初に「学習活動」を設定することで、言葉による見方・考え方を働かせて文章を理解したり、適切に表現したりする力をつける指導がなされるよう工夫している。 (3) 「学習の窓」を各単元に位置付け、それを手がかりにして見通しを持ちながら学びを深める指導ができるよう工夫している。 (4) 淡い色を使った囲みを用い、本文と資料との違いを視覚的にとらえやすくするなどして、資料を有効に活用しながら指導できるよう配慮している。 (5) 単元ごとの振り返りを具体的な項目で設定するなどして、つける力を意識した学習と自己評価とに結び付く指導がされるよう配慮している。
全体的な特色	○　多くの教材において「学習」が設けられており、見通しもって、主体的に学習を進められるよう配慮している。 ○　教科書の随所にWebコンテンツが記載され、教科書の内容と連動したコンテンツを閲覧できるよう配慮されている。 ○　領域ごとに統一した色のインデックスや淡い色の囲みなどを使って、系統やまとまりを視覚的にとらえやすくしている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　［　中学校　］

教科用図書調査研究員会

教科名　　［　国語　］

発行者名 選定基準	三省堂（現代の国語１～３）
教科の目標からの配慮	○　文字・音声言語それぞれの分野や形態を網羅した教材配列をし、それに応じて知識及び技能が習得できるよう配慮している。 ○　多岐にわたる言語活動を設定し、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるようにするとともに、主体的な学びを喚起する工夫をしている。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 幅広い分野から集めた教材を、全学年を通して、ほぼ同時期・同分野になるよう、また、難易度にも考慮しながら配列し、系統的に学べるよう配慮している。 (2) 学習過程の例示の中で、思考の観点や手段に触れながら言語活動例を示すなどして、生徒が考え方や学び方を獲得しやすくなるよう配慮している。 (3) 本文、新出漢字、見出しなどの字体をそれぞれに統一するなどし、学びやすさへの配慮をしている。 (4) イラストや強調のデザインでは、原色を避けた配色にするなどし、見やすくするよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 系統的、螺旋的に学習を積み重ねられるように教材を配置するとともに、領域を総合した単元を各学年に配列するなどの配慮をしている。 (2) 複数領域の活動を学習手段に例示するなど、様々な言語活動を学習に取り入れることができるよう工夫している。 (3) 学習過程の例示において、語彙を広げる、思考方法を獲得するための紹介欄が設けられ、知識及び技能が各領域と関連づけながら指導できるよう工夫している。 (4) 文学的文章では挿絵、説明的文章では写真や図表を用い、内容把握の手助けや思考のきっかけとしながら指導できるよう配慮している。 (5) まとめや評価のキーワードを、単元を通して繰り返し示すなどすることで、明確な振り返りとなるよう工夫している。
全体的な特色	○　単元の学習過程を例示することで、学習者が追究のイメージをもちやすいよう配慮している。 ○　各教材に単元の学習目標を明示し、生徒・教員ともに振り返りや評価がしやすいよう工夫している。 ○　原色を避けながらも、対照色を効果的に用い、要点をつかみやすいよう工夫をしている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　国語　]

発行者名 選定基準	東京書籍（新しい国語１～３）
教科の目標からの配慮	○　社会生活における様々な場面で適切に国語を使うことを念頭におき、各単元で習得すべき知識及び技能を明確に示している。 ○　生徒の言葉への興味・関心を喚起するような多様な言語活動を位置付け、主体的な学びに誘うように工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 生徒の発達段階にあわせ、身近な社会生活の場面を描いた「学びの扉」を単元の導入に設けるなどしながら、多種多様な教材文をバランスよく配列している。 (2) 日本語の決まりや特徴を扱う「日本語探検」、インターネットを通して音声や映像資料につながる「Ｄマークコンテンツ」など、主体的・対話的な学習へ誘うような工夫をしている。 (3) 新出漢字の文字を大きく示す、「文法解説」の色やマーク情報を加えるなど、学びやすさへの配慮をしている。 (4) 学習案内のキャラクターが、思考や判断のポイントを示すなどして、全ての生徒の学びやすさへの配慮をしている。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 系統立てて設定された「言葉の力」にそって段階的に指導できるよう、また、同領域の単元の連続性を考慮して指導できるよう単元を配列している。 (2) 「書くこと」「話すこと・聞くこと」の領域において、思考・判断のポイントを示し、見方・考え方を働かせて言語活動を行えるように配慮している。 (3) 「広がる言葉」「言葉を広げよう」などを通して、各領域の学習に取り組みながら語彙を豊かにする指導がしやすい工夫をしている。 (4) 古典の見開き資料、「文法解説」、巻末の学習資料など、個に応じた学習を進める際に有効に指導できるよう配慮している。 (5) 「振り返り」で生徒の対話を促すことで、具体的なまとめや評価ができるよう工夫している。
全体的な特色	○　主体的な学びにつながるように、生徒に寄り添って興味・関心を喚起しながら、学び方について明確に示している。 ○　「言葉の力」、「学びを支える言葉の力」など、教員・生徒ともに各単元で育成する力を明確にできるよう工夫している。 ○　3 学年を通して統一のキャラクターにより、思考や判断のポイント示すなど、生徒の学びやすさに配慮している。

様式Ｂ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科名　　[　国語　]

発 行 所	主　な　特　色
教育出版	○　「言葉の小窓」「文法の小窓」など、日常生活の具体的場面を想定して知識及び技能を身に付けられるよう工夫している。 ○　各単元の「学びナビ」において、目標・学習の流れ・みちしるべ・振り返りを明確に位置付け、学習の見通しをもって主体的・対話的で深い学びを促すことができるよう工夫している。 ○　三領域の言語活動をするために必要な基礎的・基本的な知識及び技能を明確に示すことをとおして、三領域の関連性及び各領域内の系統性を図る工夫をしている。

【 書　写 】

東京書籍
三省堂
教育出版
光村図書

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　書写　]

発行者名 / 選定基準	光村図書（中学書写 一・二・三年）
教科の目標からの配慮	○　書写の学習を通して幅広い知識及び技能を身に付けるとともに、書写で培った「文字を正しく整えて速く書く力」を国語や他教科、日常生活で生かす態度を育成できるよう配慮している。 ○　すべての教材で「考え」「確かめ」「生かす」という学習展開を設定し、見通しをもちやすくすることで、生徒による主体的な学習ができるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 硬筆・毛筆とも、生徒の発達段階に即した書体・字体を題材として示しており、優れた言葉・文章を選定している。 (2) 手紙やはがき、原稿用紙の書式や、学校・日常の生活に生かせるような活用例を示し、生徒が興味・関心をもてるように配慮している。 (3) 「考えよう」をきっかけとする教材を多く設定し、それを基に「確かめよう」で技術を習得し、「生かそう」では実生活に生かすことができるように工夫している。 (4) Webコンテンツから繰り返し視聴できる動画教材によって、視覚的に理解が深まるように工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) ３年間で学習したことの日常化を図れるよう、発達段階に合わせて段階的・系統的に単元を配列している。 (2) 手本の書体や形体を統一することで、生徒の円滑な練習に向けた指導をしやすいよう配慮している。 (3) 文字の歴史や成り立ちの資料や、身近な文字文化の紹介の資料により、生徒の興味を喚起した指導ができる工夫をしている。 (4) 半紙原寸大の手本や、筆先の動きが分かる資料を手本に並べて掲載するなど、視覚的な指導をしやすいよう配慮している。 (5) 各学習のはじめに目標を、また、終末には振り返りの自己評価項目を具体的に提示し、振り返りの指導がしやすい配慮をしている。
全体的な特色	○　写真やWebコンテンツを配置しており、学習内容や既習事項が視覚資料で確認できるよう工夫している。 ○　教科書に準拠した「書写ブック」を設け、毛筆の学習が硬筆に生きるよう工夫している。 ○　大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトにすることで、全ての生徒にとって学びやすい紙面構成にしている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　書写　]

発行者名 / 選定基準	三省堂（現代の書写 一・二・三）
教科の目標からの配慮	○　書写の基礎的な知識や技能を確認すると同時に、文字についての幅広い興味をもてるよう工夫している。 ○　日常生活の各場面を想定した教材を多く設定し、相手や場面に合わせて思考・判断し、学んだことを表現する力を伸ばすよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 書写の基本から始まり、楷書・かな・行書・実生活での文字文化へと学習が進むよう、発達段階に即して単元を配列している。 (2) 現代まで続く文字の歴史や文化を題材として取り上げ、手書きの文字に対する興味・関心を高める工夫をしている。 (3) 毛筆学習のあとには硬筆で確かめる「書いて身に付けよう」を設け、学習内容の定着や他の文字への応用力がつくよう工夫している。 (4) 図、さし絵、写真等が多く、色覚を考慮した色合いの配色により、精選した情報量になるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 各学年の発達段階に即した教材が、見開きで構成してあり、単元で学習する内容が一目で分かるよう工夫している。 (2) 学習指導要領の配慮事項を踏まえ、毛筆で確かめた内容を硬筆でくり返す定着のための指導がされるよう工夫している。 (3) 各学年末に、学んだことを生かせる活動を取り入れ、国語の学習や他教科とのつながりが生まれるよう工夫している (4) 穂先の動きを表現する運筆のデジタル資料を用意し、視覚的な理解をともなって筆運びを指導できるよう配慮している。 (5) 単元の終末に「振り返ろう」「書いて身につけよう」を設定し、まとめや評価の観点を明確に指導できるよう工夫している。
全体的な特色	○　自分の文字や書き方の課題を自覚し、改善するために螺旋的に学習を進め、日常生活に生かすことができるよう配慮している。 ○　二次元コードを読み取ることで、硬筆・毛筆の姿勢・筆の運び方など基礎的な内容が確認できるように配慮している。 ○　各教材を見開き２ページで構成し、何をどの順番で学習すればよいか一目でわかるレイアウトにして、誰もが学びやすい紙面にしている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　書写　]

発行者名 選定基準	教育出版（中学書写）
教科の目標からの配慮	○　「試し書き」「生かそう」「まとめ書きと応用」で、書き込みながら必要な知識及び技能を身に付けられるようにしている。 ○　「考えよう」で、自分の課題を発見し、課題を解決していく学び方を習得できるように工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 硬筆・毛筆教材ともに生徒の発達段階や語彙・言語環境を考慮し、習得しやすい文字や語句を教材化している。 (2) メモ・新聞・メッセージカードなどをわかりやすくまとめる力から、便箋・封筒・願書などの書き方など、実社会で生きる力まで、多様な書写の力を身に付けられるよう工夫している。 (3) 「考えよう」では、「どの部分か」「どう変化しているか」に着目し、自らの気付きから必要な技能を身に付けられるよう配慮している。 (4) 写真、行書の特徴のアイコン表示、学習内容を確かめる書き込み欄など、生徒が学びやすいよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 楷書体から行書体、行書と仮名の調和、点画の変化と連続というように、発達段階に応じて指導できるよう単元を配列している。 (2) １年、２年、３年と既習の知識及び技能を生かしながら、徐々に高度な書写に挑戦する学習となるよう配慮している。 (3) 書写での学びが他教科の学習活動や日常生活に生きて働くような題材配列で、生徒の主体性を引き出す指導ができるよう工夫している。 (4) 毛筆教材の図版は、穂先の通り道を朱墨で示すことで、筆使いが理解しやすい学習となるよう工夫している。 (5) 「まとめ書きと応用」「振り返ろう」で、自己の学びを自覚的にとらえる指導ができるよう工夫している。
全体的な特色	○　行書の導入に「筆の動き」が確かめられる図版を用い、行書の知識・技能を確実に習得できるような工夫をしている。 ○　さまざまな筆記用具の字体を紹介し、筆記用具を選択する大切さを実感できるよう配慮している。 ○　基本点画の名称とわかりやすい筆使いを掲載し、文字の基本的な書き方を、すべての生徒が確認できるよう配慮している。

様式Ｂ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科名　　[　書写　]

発 行 所	主　な　特　色
東京書籍	○　文字を正しく、整えて速く書くために必要な知識及び技能を「書写のかぎ」として明確化・焦点化している。 ○　文字文化の豊かさに触れる「文字のいずみ」、生活に即して知識及び技能を活用する「生活に広げよう」を設け、主体的に学ぶことができるように配慮している。 ○　毛筆教材と硬筆教材との配分を考慮し適切な順で単元を配列することで、硬筆・毛筆を効果的に関連させた指導ができるよう配慮している。

【 社会（地理） 】

東京書籍
教育出版
帝国書院
日本文教出版

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　社会(地理)　]

発行者名 / 選定基準	東京書籍（新しい社会　地理）
教科の目標からの配慮	○　単元の探究課題を軸に１時間毎の学習課題を設定することで連続的に問題解決的な学習を進められるように構成されており、営みと関連付けて思考・判断力が高まるよう配慮している。 ○　環境・エネルギー、防災・安全、人権・平和、伝統・文化、情報・技術の５つの視点で教科書全体を貫き、持続可能な社会の実現に向けて追究できるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 見開き２頁を１時間の授業とし、本文は平易な文章を使用し、生徒が課題や事実を理解しやすいように配慮している。 (2) 「地理にアクセス」で学習内容を補充したり、生徒にとって興味・関心の沸きやすいトピック的な内容を取り上げたりし、生徒が様々な角度から学ぶことのできるよう工夫している。 (3) 地理学習のまとめの単元として、「地域の在り方」を設定し、学習した知識や技能、見方や考え方を働かせながら、身近な地域の将来像を構想できるように配慮している。 (4) 重要語句はゴシック体を使い、また、文章を長くても３行にし、生徒の読みやすさや理解しやすさに配慮している。 (5) 「スキルアップ」で資料の読み取り方を示したり、資料掲載部分の背景に色をつけて本文との区分けを明確にしたりし、生徒が資料を読み取りやすいよう工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 地域の現在の姿や発展を最初に記述することで、現状の把握から学習課題設定につなげ、単元を指導できるよう工夫している。 (2) 単元を貫く課題として「探究課題」を設定し、その解決に向けて毎時間の「学習課題」を据え、基礎的・基本的な知識をもとに思考・判断し、指導できるように構成している。 (3) 毎時間「チェック」「トライ」を設けて、生徒に主体的に考えたり、対話したりする視点を示すことができるよう配慮している。 (4) 単元同士を結ぶものとして、テーマ性をもった課題を「章」の最初に設定し、生徒に見方・考え方を働かせた主体的、連続的な学習を促すことができるよう配慮している。 (5) 「まとめの活動」では、思考ツールによって生徒の学習内容の整理や「探究課題」の解決を促すことができるよう工夫している。
全体的な特色	○　単元の「探究課題」と１時間毎の「学習課題」を連携させ、本文はまず現状を記述することで、現状の把握から学習課題の設定につなげ、基礎的・基本的な知識をもとに思考・判断し、追究できるよう、よく工夫している。 ○　テーマ性をもった課題を「章」の最初に設定し、生徒に見方・考え方を働かせながら主体的、連続的な学習ができるよう配慮している。 ○　トーンを落とした見やすい写真、資料を掲載することで、目に優しく、色覚の特性にも配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　社会(地理)　]

発行者名 / 選定基準	帝国書院（社会科　中学生の地理　世界の姿と日本の国土）
教科の目標からの配慮	○　「節の問い」を軸に１時間毎具体性のある「学習課題」を設定し、連続的に問題解決的学習を進められるよう配慮している。 ○　本文では地域の成り立ちや以前からの特徴を丁寧に扱い、現在の姿を重ねて考えられるように構成されており、知識・理解から思考判断力の高まりにつながるよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 見開き２頁を１時間の授業とし、本文は濃い字体で読みやすく理解しやすい文章を使用し、生徒が学習課題について地域の成り立ちと課題を段階的に理解し、考えられるように配慮している。 (2) 「確認しよう」「説明しよう」で、考える視点や方法を示し、事象を比較したり対話したりして考えられるように工夫している。 (3) 大きく見やすい資料の掲載、「技能をみがく」コーナーの設定により、生徒が地理的な見方・考え方を働かせる上で必要な基礎的技能を習得できるよう工夫している。 (4) 用語解説が側注欄にあるため生徒の意欲の継続に、また右頁にインデックスが設けられ、章ごとに色が統一されていることで、使いやすさに配慮している。 (5) 「地理プラス＋」などで生徒の興味を引くトピック的な内容、補完的な内容を掲載し、楽しさや興味関心にも配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 最初に地域の成り立ちとしての重要な内容、次に現在の姿や経済発展と時系列に記述することで、地域の基礎基本を理解した上で学習課題について追究する授業となるよう工夫している。 (2) 単元を貫く課題として、「章・節の問い」を「現在の姿が地域に与える影響」として統一し、「どのように」という解決に向けた１時間毎の「学習課題」を設定することで、見方・考え方を働かせながらの思考判断を生徒に促すよう配慮している。 (3) 統一したキャラクターが発問や気づき、学習の手がかりを提示することで、生徒の興味関心を高められるよう工夫している。 (4) 単元同士を結ぶものとして、テーマ性をもった課題を「章・節」の最初に設定することで、生徒に他の地域と関連付けながら連続的に学習に取り組む視点を示せるよう配慮している。 (5) 単元の最後に「節の学習を振り返ろう」を設け、生徒に白地図や思考ツールを用いて学習内容を整理しながら「節の問い」の解決を促すことができるよう工夫している。
全体的な特色	○　最初に地域の成り立ちとしての重要な内容、次に現在の姿や経済発展と時系列に記述することで、生徒が地域の現状や基本を理解した上で学習課題について思考判断できるよう工夫している。 ○　環境、防災、共生をテーマにしたコラムを掲載し、生徒がSDGsを意識し、社会参画の観点から追究できるように配慮している。 ○　開きやすい製本にしたり、発色のよい写真や資料を使ったりすることで、見やすく印象にも残りやすい工夫をしている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　社会(地理)　]

発行者名 / 選定基準	教育出版（中学社会　地理　地域に学ぶ）
教科の目標からの配慮	○　単元毎に「学習テーマ」、「学習の視点」を据え、1 時間毎の「学習課題」を追究することで、関連的にテーマに迫ることができるように工夫している。 ○　世界地誌の学習では、単元の導入頁で、州毎の「学習テーマ」と共に、持続可能な開発目標と関連する特徴的な地球的課題を取り上げ、SDGs も意識しながら学習が深まるように工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)　１時間の授業を見開き２頁で構成し、本文は平易な標記を使い、記述量を充実させ学習内容を詳しく扱うことで、生徒が基礎的・基本的な事項を確実に習得できるよう配慮している。 (2)「確認・表現」、「読み解こう」やコラム、最後に取り組む「学習のまとめと表現」と続く、様々な視点に配慮した段階的な学習を通して、見方・考え方を通した確かな学力の向上が図られるように配慮している。 (3) トーンを落としたり背景色を入れたりした写真・地図・グラフ等の資料が豊富に掲載され、生徒が多面的多角的な学習をすすめられるよう配慮している。 (4) 固有名詞や社会科特有の用語には、ふりがなを付けたり側注や巻末に用語解説を掲載したりし、使いやすさに配慮している。 (5) 地域に住む人を登場させることで、地理的な見方・考え方である人々の営みと関連付けて考えられるよう工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 学習の始めに、世界の諸地域では地域的課題、日本の諸地域では学習の視点を明確に示し、本文ではまず現状を記述することで生徒に現在と関わっての問題意識をもたせ、意欲的な追究につなげられるよう配慮している。 (2)　１時間毎の学習課題について、「LOOK!」で資料の見方、「確認」で基礎基本の定着を図り、「地理の窓」、「表現」で視野を広げたり思考・判断したりする学習を進められるよう工夫している。 (3)「地域から世界を考えよう」、「現代日本の課題を考えよう」を設け、単元のまとめとして、生徒に地域的課題等と日常生活や経験とを関連させて考える場を設けられるよう配慮している。 (4) 見開き右頁下に、関連マークを付し、歴史的分野公民的分野とも連携した学習を生徒に促すことができるよう工夫している。 (5)「学習のまとめと表現」の頁を設け、用語確認、図表の読み取り、表現、意見交換と段階的に学びの定着を図る工夫をしている。
全体的な特色	○　見通し、振り返りの学習活動に取り組みやすい内容構成であり、主体的・対話的で深い学びを実現しやすい配慮をしている。 ○　主権者意識が高まるよう、今日的課題に関わる話題を取り上げて、社会参画への態度を養えるように工夫している。 ○　開きやすい製本にし、資料や写真で全体的に薄いトーンを使うことで、見やすさや使いやすさに配慮している。

様式Ｂ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　［　中学校　］

教科名　　［　社会(地理)　］

発 行 所	主　な　特　色
日本文教出版〔中学社会　地理的分野〕	○　本文は平易な表現で地理的事象を具体的に記述しており、各地の地域的特色や地球的課題・地域の課題をとらえる配慮をしている。 ○　課題解決のための「見方・考え方」や「資料活用のための見方」、右頁のインデックスなど、学習に見通しを持って取り組める工夫をしている。 ○　「アクティビティ」や「チャレンジ地理」のコーナーで、協働をしながら思考力・判断力・表現力の向上を図る工夫をしている。

【 社会（歴史） 】

東京書籍
教育出版
帝国書院
山川出版社
日本文教出版
育鵬社

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　社会(歴史)　]

発行者名 / 選定基準	帝国書院（社会科　中学生の歴史　日本の歩みと世界の動き）
教科の目標からの配慮	○　「節の問い」、角度付いた１時間毎の「学習課題」について、事実と因果関係を分かりやすく記述した本文によって、見方・考え方を働かせながら関連的に追究できるよう配慮している。 ○　SDGs に関連するコラムを 43 のテーマで示し、未来の社会に向けて、先人たちの取り組みをもとに主体的、対話的に考えられるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 見開き２頁を１時間とし、学習課題について適切な資料や事実と因果関係を分かりやすく記述した本文を手がかりに、生徒自ら学習が進められるように工夫している。 (2) 用語解説や「人物コラム」が側注欄として設け、生徒が興味関心を継続しながら学習できるように、また使いやすく歴史により親しみが持てるように工夫している。 (3) 図解や写真が豊富であり、また写真の中にキャプションを入れるなど、生徒にとって分かりやすさへの配慮をしている。 (4) 見開き右側のインデックスが年表となっており、生徒にとって時代を意識しながら学ぶことのできる工夫をしている。 (5) 二次元コードから動画資料を見ることができるようになっており、学習を主体的に深められるように配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 右頁には、「確認しよう」や「技能をみがく」コーナーを設け、生徒に見方・考え方につながる類似や差異を明確にするための知識や技能の習得を促すことができるよう配慮している。 (2) 単元を「章・節の問い」、角度付いた「学習課題」と段階的に構成し、因果関係を詳細に記載した本文により、歴史的見方・考え方を働かせながら深い学びとなる指導を行えるよう工夫している。 (3) 長野県の歴史に関わる事象を取り上げることで、生徒の地元への興味・関心を高めることができるよう配慮している。 (4) 各時代の冒頭に、イラスト「タイムトラベル」が設けられ、他の時代と比較・関連したり、その時代の生活を感じ取らせたりしながら指導できるように工夫している。 (5) 各章末には「章の学習を振り返ろう」を設け、単元を貫く問いについて、得た知識を振り返りながら、歴史的な見方・考え方を働かせて解決できるよう思考ツールを提供している。
全体的な特色	○　イラスト「タイムトラベル」、単元を貫く問い、本文、「節の問いを振り返ろう」「章の学習を振り返ろう」と、単元を通して生徒の学びに沿った構成となるよう、よく工夫している。 ○　詳細な資料、因果関係をふまえた具体的な記述により、類似や差異を明確にしたり因果関係と関連付けたりしながら多面的・多角的な歴史学習ができるよう、よく配慮している。 ○　発色のよい写真、大きめの資料など、見やすさ・分かりやすさに配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　社会(歴史)　]

発行者名 / 選定基準	東京書籍（新しい社会　歴史）
教科の目標からの配慮	○　章の始めに、「探究課題」、「探究のステップ」を「なぜ」という問いを入れながら全て示すことで見通しをもたせ、１時間毎の「学習課題」について、分かりやすい記述と資料により、類似や差異を明確にして探究課題に迫れるよう工夫している。 ○　教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の５つのテーマで貫き、第７章では、「持続可能な開発目標（SDGs）」を取り上げ、現代的な諸課題を理解し、解決しようとする態度を養えるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 見開き２頁１時間の構成になっており、平易で分かりやすい本文、学習指導要領に基づいた用語など、生徒が歴史的事象を理解しやすいよう配慮している。 (2) 鮮明な写真資料を用い、資料の掲載部分の背景に色を付けて本文と資料との区別を明確にしたり左頁下に年表を掲載したりし、生徒の見やすさや使いやすさに配慮している。 (3) 復元写真や想像図など、歴史が実感できる資料を豊富に掲載し、歴史をイメージしながら楽しく学べるよう工夫している。 (4) 「見方・考え方」で視点と方法を示したり、「まとめの活動」で様々な思考ツールを使ったりすることで、生徒が歴史的な見方・考え方を働かせながら思考・判断できるよう配慮している。 (5) 二次元コードを配置し、動画資料などのコンテンツを生徒が主体的に参照できる工夫をしている。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) １時間毎の「チェック」、資料読み取りのための「スキル・アップ」を設け、基礎的な知識・技能の習得に向けた指導ができるよう工夫している。 (2) 「探究のステップ」に「なぜ～」を用い、１時間毎の学習課題「どのように～」につなげ、「チェック」や「トライ」を視点として考え合う授業を展開できるよう工夫している。 (3) 章の最後に「基礎・基本のまとめ」を設け、生徒に、年表や模式図などを使って学習内容を整理し、探究のステップを振り返りながら探究課題の解決することを促すよう配慮している。 (4) 他分野と共通で掲載している資料や特設ページには、「分野関連マーク」を示し、多面的・多角的学習を促すよう配慮している。 (5) 「まとめの活動」では多様な思考ツールを掲載し、生徒の既習事項を基にした対話的な活動を促し、思考力・判断力・表現力を高めることができるよう配慮している。
全体的な特色	○　単元全体を貫く「探究課題」から「探究のステップ」、１時間毎の「学習課題」と段階的に問いを発し、「チェック」「トライ」で関連的に学び、様々な思考ツールを使って振り返ることを通して、多面的多角的に学ぶことができるよう工夫している。 ○　本文は事実を基盤とした分かりやすい記述と資料により、類似や差異を明確にして探究課題に迫れるよう配慮している。 ○　資料はやわらかいトーンを使い、見やすさに配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　社会(歴史)　]

発行者名 / 選定基準	山川出版社（中学歴史　日本と世界）
教科の目標からの配慮	○　多くの歴史資料を掲載し、資料活用に基づいた知識獲得と資料を読み取る力の育成をもとに、時代や事象の特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し学ぶことができるよう配慮している。 ○　章の始めに日本史と世界史の年表を併記したり「歴史へのアプローチ」で世界の動きを載せたりし、世界との比較や現代につながる課題を意識しながら学べるよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 詳細な本文と文章資料で事象を細かく記述し、一方、レイアウトはすっきりさせることで、生徒の学びやすさに配慮している。 (2) 章の始めに、日本史と世界史の帯年表を豊富な写真資料とともに掲載し、年表の帯の色を分けて標題の背景色と連動させることで、生徒が学習している時代を確認できるよう工夫をしている。 (3) 章の途中に、その当時の世界地図や風俗やできごと、世界遺産をイラストで入れることで、生徒が興味・関心を高められるよう工夫している。 (4) 資料を見るポイントや用語解説を側注欄に配置し、生徒が本文との関連を一目で分かることができるよう工夫している。 (5) 本文では「です・ます」調をやめることで、生徒が事象を理解しやすいよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 時系列に重きを置いた単元配列とし、事象について順序立てて詳細に記した本文とすることで、歴史的事象について因果関係を基に関連付け、指導できるよう配慮している。 (2) 黄枠で学習課題を示し、豊富な資料と因果関係を記述した本文、「ステップアップ」を通して、生徒の基礎的基本的な知識、技能を元にした深い学びを促すよう配慮している。 (3) 「歴史へのアプローチ」、「歴史を考えよう」のコーナーを設け、生徒の興味・関心を高め、発展的で主体的な学びを促すよう配慮をしている。 (4) 日本史だけでなく世界史に関わる事象についても本文で詳細に取り上げ、関連性を理解させたりその後の動きに触れたりしながら指導できるよう配慮している。 (5) 章末のまとめは、当時の人々の立場で考えさせる項目を設け、その時代における自分の対応や解決策について、既習事項を元に歴史的見方・考え方を働かせながら思考判断し、主体的・対話的に学ぶ場となるよう配慮している。
全体的な特色	○　資料に基づいた歴史学習を重視し、資料から読み取った事実を基に考え追究する生徒が育つよう配慮している。 ○　「です・ます」調でなく、「である」調に文末を統一するなど、読みやすさ、高校の歴史学習への系統性に配慮している。 ○　発色のよい写真や大きめの資料を掲載し、また開きやすい製本とすることで、見やすさ、使いやすさに配慮している。

様式Ｂ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　［　中学校　］

教科名　　［　社会（歴史）　］

発 行 所	主　な　特　色
教育出版〔中学社会歴史　未来をひらく〕	○　資料を読み解く活動から章や節の学習が始まり、見通しや興味関心を持たせ、主体的に学べるよう工夫している。 ○　見開きのタイトルが、生徒の興味・関心をひく内容であり、年表スケールが各頁に配置され、生徒が学習する時代を把握しやすいように工夫している。 ○　学習課題に対する「確認・表現」や「学習のまとめ表現」では、生徒が既習事項を確認し、自分の言葉を使って表現しやすいよう配慮している。
日本文教出版〔中学社会　歴史的分野〕	○　本文は平易な文章で具体的な記述がされている。また、各時代の「チャレンジ歴史」では資料の読み取り、選択など段階に応じたものが掲載され、主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮している。 ○　各章の冒頭に、見開きで、世界地図、写真やイラストを掲載し、右頁のインデックスに年表を使うなど、生徒が歴史の流れを体験できるように配慮している。 ○　１時間の授業のタイトルにサブテーマをつけ、学習課題には課題解決のための見方・考え方を示し、まとめとして「深めよう」「確認」を設け、生徒の主体的な学習に配慮している。
育鵬社〔最新　新しい日本の歴史〕	○　日本と同年代の世界の動きをまとめる頁が設けてあり、世界の歴史を背景に日本の歴史を理解することができるよう配慮している。 ○　１時間の授業が通し番号で標記してあり、着眼点を示し課題意識を持つことができる導入資料、学習課題とそれに対する解説や資料を掲載し、主体的な学習になるよう工夫している。 ○　各章冒頭では「鳥の目、虫の目」などで、歴史の見方をいろいろな形で紹介し、「歴史のターニングポイント」や「学習のまとめ」では、年表や資料の読み取りを通して、思考力・判断力・表現力が高まるよう配慮している。

【 社会（公民） 】

東京書籍
教育出版
帝国書院
日本文教出版
自由社
育鵬社

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　社会(公民)　]

発行者名 / 選定基準	東京書籍（新しい社会　公民）
教科の目標からの配慮	○　事象を構造的にとらえやすいように単元を配列することで、生徒が公民的事象について、概念や理論などと関連付けて追究できるよう配慮している。 ○　教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」で貫き、現代社会の諸課題を意識しながら学習を進められるように工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 見開き２頁１時間の分かりやすい構成になっており、また本文を事実に重きを置いた端的な記述にすることにより、生徒の理解しやすさに配慮している。 (2) 学習の冒頭にコーナーを設け「見方・考え方」を明示してテーマ性捉えさせ、さらに学習の過程に適宜「見方・考え方」を設けることで、生徒の学習が深まるよう工夫している。 (3) 「インタビューコラム」を設け、生徒が人々の姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるよう配慮している。 (4) 他分野や他教科との関連するマークを随所に示すことにより、生徒が分野横断的な学習を進められるよう配慮している。 (5) 漫画やイラストを豊富に掲載したり、ICT 機器を活用して学べる箇所に「Ｄマーク」をつけたりして、生徒が興味・関心を持って学習を進められるよう工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 「スキル・アップ」、「読み取る」、「チェック」を設け、基礎的知識・技能の習得を確かにしながら指導できるよう配慮している。 (2) 導入で「探究課題」を立てさせ「なぜ～」を取り入れた「探究のステップ」を提示し、１時間毎の思考・判断を取り入れた「学習課題」の追究、「まとめの活動」を通して、概念や理論などと関連付けながら構造的に学習を展開できるよう工夫している。 (3) 「みんなでチャレンジ」を設け、小集団での参加型学習を通して、対話的な活動を効果的に実践できるよう配慮している。 (4) 「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」に関する特設ページ（「もっと公民」）を３分野共通で掲載し、分野を関連させた指導について配慮をしている。 (5) 各章の終わりには「座標軸」、「ステップチャート」といった多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びの深まりを促すよう工夫している。
全体的な特色	○　本文は平易で端的な表現を使うことで、生徒の理解を促し、それを基に自ら課題を追究し深められるようよく配慮している。 ○　既習を基にした終章「より良い社会を目指して」の単元を設け、具体的な事例を通して学び合うことで、社会参画のあり方について考えられるよう配慮している。 ○　トーンを落とした見やすい写真、資料を掲載することで、目に優しく、色覚の特性にも配慮した教科書となっている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　社会(公民)　]

発行者名 / 選定基準	帝国書院（社会科　中学生の公民　よりよい社会を目指して）
教科の目標からの配慮	○　「章・節の問い」、具体的な学習課題、しくみや概念、理論を理解しやすい本文、最後の「節の問いを振り返ろう」で単元が構造化され、生徒が主体的、関連的に学べるよう工夫している。 ○　SDGs17 項目、よりよい社会の形成に関わる「未来に向けて」を設定し、生徒が公民の視点から地球的な問題や社会参画に向けて考えることができるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 生徒にとって具体的でわかりやすい本文であり、また、詳細に記述することで、生徒が社会的事象の背景や因果関係まで理解できるよう配慮している。 (2) 各部の初めに「学習の前に」を設け、生徒の興味・関心をひく生活に根ざしたイラストから学習する内容を予想したり見通したりすることで、生徒に課題意識が生まれるよう工夫している。 (3) 各部ごとの色を統一し、右端にインデックスを設けることで、生徒が全体の位置づけを確認できるよう工夫している。 (4) 用語解説や関連資料を側注に掲載し、すぐに用語の意味を確認したり、公民的事象を身近に感じたりできるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 因果関係を基にした丁寧な記述により、必要な基礎的知識や技能の習得を確かにする指導ができるよう配慮している。 (2) 導入のイラストをもとに生徒の身近な問題意識から単元を始め、生徒の思考の道筋に沿った学習課題について、本文をもとに「公民＋」も活用しながら概念や理論と関連させて学習を展開できるよう配慮している。 (3) 各部の初めの「学習の前に」のイラストで全体像をつかみ、各論に入ることで、単元の流れが生徒の思考に沿い、生徒の主体的な学習を引き出せるよう工夫している。 (4) SDGs について３分野の関連を重視し、「未来に向けて」の視点から生徒に考えさせたり、長野県に関わる内容を随所に掲載して地域の視点から考えさせたりできるよう工夫している。 (5) 「章の学習を振り返ろう」では、「章の問い」に対しての「学んだことを確かめよう」「見方・考え方を働かせて考えよう」のステップを通して、基礎的・基本的理解、思考・判断力についての自己評価を促すことができるよう工夫している。
全体的な特色	○　生徒の身近な問題意識から単元が始まり、生徒の思考の道筋にそって単元を配置することで、生徒が主体的、探究的に学習を進めることができるよう配慮している。 ○　公民的事象についての原因や事象から生じた影響の記述により、具体的な事象を理解し、資料や写真を関連させながら思考・判断できるよう配慮している。 ○　開きやすい製本の採用、発色のよい写真、大きめの資料により、使いやすさ、見やすさに配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　社会(公民)　]

発行者名 / 選定基準	教育出版（中学社会　公民　ともに生きる）
教科の目標からの配慮	○　章の始めに「学習の見通し」を設けて展開を文章で示し、学習課題について、社会の変化や今日的課題が反映された事象を取り上げた記述やコラムをもとに学ぶことで、生徒に未来社会を切り開くための資質・能力を育むことができるよう工夫している。 ○　「終章：私たちが未来の社会を築く」で、今日的な課題について SDGs 達成の観点からも探究し、自分の提案を作成する活動を通して、主体的な学習や社会参画を養う配慮をしている。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)　平易な記述により生徒の理解を助けたり、側注や巻末にある「用語解説」により知識を補充したりして、基礎的・基本的な知識や概念を理解できるよう配慮している。 (2)「公民の窓」、「公民の技」などの学習コラム、人物の姿を中心としたコラム、特設ページ「言葉で伝え合おう」などを通して、生徒が広い視野から学習できるよう配慮している。 (3)　１時間毎に生徒の興味・関心をひきやすい印象的なタイトルを記載し、キャラクターが考えるポイントを示すなど、生徒が学習意欲を持続できるよう工夫している。 (4) 落ち着いたトーンの写真、イラスト・地図・グラフなどの資料が配置され、生徒が視覚的にとらえやすいよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 分かりやすい記述、「確認」のコーナー、見やすい資料や写真により、基礎的・基本的な知識・技能の習得をもとに指導できるよう配慮している。 (2)　１時間では、導入資料で課題をつかみ、文章表現や「確認」をもとに基礎的・基本的内容を習得し、「公民の窓」や「表現」からで思考・判断する学習展開を行うことができるよう配慮している。 (3)　中学生が学習活動や社会体験に取り組む場面を写真等で数多く紹介し、生徒に学習意欲の喚起や社会への参画意識の向上が図られるよう配慮している。 (4) 小学校、他分野、他教科との関連を示す「関連マーク」を付し、振り返りや連携も行いながら指導できるよう工夫している。 (5)「学習のまとめと表現」の頁を設け、用語確認、図表の読み取り、表現、意見交換を行うことで、生徒に段階的に学びの定着を図ることができるよう工夫している。
全体的な特色	○　単元を見通す「学習のはじめに」、本編の「確認・表現」、「読み解こう」、学習コラム、特設ページ、「学習のまとめと表現」を通して、多面的多角的な公民学習になるよう配慮している。 ○　SDGs の 17 の目標を冒頭に紹介し、本文の中でも関連が分かる表記がされ、持続可能な未来のあり方について生徒が継続して考えられるよう工夫している。 ○　開きやすい製本にし、資料や写真で全体的に薄いトーンを使うことで、使いやすさや見やすさに配慮している。

様式Ｂ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　［　中学校　］

教科名　　［　社会（公民）　］

発 行 所	主　な　特　色
日本文教出版〔中学社会　公民的分野〕	○　基礎的・基本的な知識の定着を図り、社会的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究する思考力・判断力・表現力の向上を図る学習を通して、生徒の社会参画の意識を高める配慮をしている。 ○　編の最初の漫画や、大きめのイラスト・写真、点字の頁の掲載、インデックスなど、生徒が興味・関心を高め学習を進める工夫をしている。 ○　編の学習の始めに漫画を取り入れながら習得させたい見方や考え方をとらえさせ、それに基づいて本編で学習を進め、編のまとめとして「学習の整理と活用」の頁で語句の確認、資料の読み取りなど段階的に学習を深める工夫をしている。
育鵬社〔新しいみんなの公民〕	○　持続可能な社会の形成に向けて、習得した知識や技能を基に社会の諸問題について生徒が生活目線で考え、判断する活動につながるように配慮している。 ○　随所に配置されたキャラクターが、学習方法や視点を示し、写真や資料が大きく掲載され、生徒の興味関心を引きやすくする配慮をしている。 ○　各章の導入に「入り口」を設けて興味・関心を促し、見開きの「学習のまとめ」などで思考力・判断力の育成に配慮し、章末の「これから」で、学習した内容を踏まえて、社会的事象の意義を考察しやすい工夫をしている。
自由社〔新しい公民教科書〕	○　必要な知識や技能について複数の単元で繰り返し学習し、社会的な見方・考え方を働かせる学習活動を多く取り入れ、課題を主体的に解決する態度を養う配慮をしている。 ○　行間が広く、大きなイラストでシンプルなレイアウトになっており、読みやすく理解しやすい配慮をしている。 ○　各頁の最後の「ここがポイント！」で、１時間の授業で身につけたい基本事項や考え方を示し、理解しやすいよう工夫している。

【 社会（地図） 】

東京書籍
帝国書院

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　社会(地図)　]

発行者名 選定基準	帝国書院（中学校社会科地図）
教科の目標からの配慮	○　一般図、鳥瞰図、資料図、統計で構成されており、生徒が単元や１時間の学習課題を追究する際に、全体的、立体的、主題的に地域をとらえやすいようによく工夫している。 ○　写真やグラフ資料が豊富であり、生徒が地域的特色に興味・関心を持ち、多面的多角的に調査し発表できるよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 地図中の地名の漢字には、全てにふりがなが付され、生徒が地名を正しく読み、理解できるよう配慮している。 (2) 学習上重要な地名は大きく太い文字で記載することで他の地名よりも目立つように工夫し、産物や環境に関するものは絵記号が用いるなど、生徒の読み取りやすさに配慮している。 (3) 見開き２頁の中に、関連する地図や資料を配置し、生徒が地域的特色を様々な角度から理解できるよう配慮している。 (4) 「地図活用」のコーナーを設け、生徒が使用する際に、地図の読み取るポイントが分かるよう配慮している。 (5) Ａ４版で資料が大きく、生徒の見やすさに配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 「地図帳の使い方」と凡例を巻頭で５頁にわたって設け、作業を促すコーナーや「地図活用」から、生徒に地図の読み取り等の地理的技能を育む指導ができるよう工夫をしている。 (2) 問い「地図活用」では社会的な見方・考え方の視点に着目させ、また比較のための同緯度・同経度・同縮尺の日本地図を随所に掲載することで、生徒の思考力・判断力・表現力を高めることができるよう配慮している。 (3) 鳥瞰図は、イラストを配し、立体的にとらえ高低差を理解できるものとなっており、国や様々な地形に対する生徒の興味関心を高めることができるよう配慮している。 (4) 歴史的分野、公民的分野でも幅広く活用できる資料を掲載し、三分野に関連して指導できるよう配慮している。 (5) SDGs の観点に基づいた資料が豊富に掲載され、今後の課題とも関連させて多面的多角的に指導できるよう配慮している。
全体的な特色	○　基礎的な地図と共に、教科書にある資料に関わった発展的内容の地図や資料を多数掲載し、地図帳を使って多面的多角的に学習することができるようよく配慮をしている。 ○　４つの構成に基づき、見開き２ページに多様な地図や資料を掲載することで、地域の基礎的内容や特色を理解し、体感しやすいよう工夫している。 ○　大きなＡ４判を採用し、発色のよい地図や資料を使うことで、学習のしやすさ、見やすさに配慮した地図帳となっている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　社会(地図)　]

発行者名 選定基準	東京書籍（新しい社会　地図）
教科の目標からの配慮	○　一般図、基本資料やテーマ資料、歴史・公民との関連図で構成し、生徒が単元や１時間の学習課題を追究する際に、一般図を基盤としながら多面的・多角的に考えられるよう工夫している。 ○　SDGs などの現代社会の実態や課題に関する資料を８頁にわたって豊富に掲載し、最新の社会情勢と関連付けながら学ぶことができるよう配慮をしている。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 冒頭に地図帳の活用方法を学ぶ項を２頁にわたって設け、それぞれの地図や資料についての見方を学び、生徒がその後の学習に活用できるよう工夫している。 (2) 様々な地図資料をテーマに沿って豊富に配置し、生徒が教科書で学んだ内容を発展的に活用できるよう工夫している。 (3) 地図、写真や資料を通して、生徒が世界や日本の最新の情報を理解しやすいよう配慮している。 (4) 地図や資料に抑えめのトーンを使用することで、見やすさや使いやすさに配慮している。 (5) 一般図は世界の国名や主要な都市名、日本のすべての市町村名や自然地名を掲載し、調査学習をしやすいよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 世界の各州・日本の各地方には、自然・産業・人口などの主題図を「基本資料」で設け、地域の概観に役立つ基礎的・基本的な知識の習得に向けた指導ができるよう工夫している。 (2) 「テーマ資料」では、世界や日本の諸地域の探究課題に沿って学習する際に活用できる資料を取り上げ、多面的・多角的な学習を図れるよう配慮している。 (3) 資料のポイントや見方・考え方を示したキャラクターのふき出しを設けることで、生徒の興味・関心、資料を読み取る力を高めることができるよう工夫している。 (4) 「ジャンプ」のマークで関連する資料の参照頁を示し、関連的に考察する場を設けることで、さらに深まるよう工夫している。 (5) 教科書本文や掲載資料との連携に関わって、学習効果が高まる資料を掲載することで、深い学びになるよう配慮している。
全体的な特色	○　一般図を基盤に、資料地図で地理教科書の内容を補完し教科書資料との関連性を高めたり、歴史的資料や現代社会に関わる資料を多数掲載したりして、多面的多角的に学ぶことのできるよう工夫している。 ○　一般図と共に写真やグラフなどの資料を様々な主題や視点から豊富に掲載し、世界各地の姿を興味・関心を高めながら理解できるよう配慮している。 ○　トーンを落とした地図、写真を掲載し、目に優しく色覚の特性にも配慮した地図帳となっている。

【 数　学 】

東京書籍
大日本図書
学校図書
教育出版
啓林館
数研出版
日本文教出版

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　数学　]

発行者名 / 選定基準	啓林館(未来へひろがる数学)
教科の目標からの配慮	○　数学的に考える資質・能力を育むため、数学的な見方・考え方にふれ、それらを働かせて考えられるよう場面設定を工夫している。 ○　数学を学ぶ楽しさや有用性を実感できるよう配慮するとともに、数学を生活に生かしたり、問題解決の過程をふりかえって考えたり発展的に考えたりできるよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 数学が生活や社会の中で有用に働いていることを実感し、生徒が主体的に学習に取り組めるようよく配慮している。 (2) 問題発見・解決の過程を段階に分けて示すことで、生徒が自分から問題を発見したり、解いた問題をさらに発展させたりできるよう工夫している。 (3) 生徒が身の回りの問題を数学的にとらえたり、数学的に表現・処理したりする力を育成できるよう工夫している。 (4) 「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」では、生徒が数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動を取り入れるなど工夫している。 (5) 生徒が、「ふりかえり」で既習内容を学び直したり、章末問題や「もっと練習しよう」で反復学習したりできるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)　表表紙横開きと裏表紙縦開きの 2 部構成とし、生徒の個性に応じてバランスよく指導計画を作成できるようよく配慮している。 (2)　具体的な「例」を豊富にして指導しやすくするとともに、生徒の思考を意識し具体から抽象へ、基礎から発展へといったステップを踏みながら学習指導できるよう工夫している。 (3)　学習過程で働かせた数学的な見方・考え方を「虫眼鏡」として示し、授業の中で自然にふれた数学的な見方・考え方を改めて振り返らせるとともに、それらを繰り返し指導できるように配慮している。 (4)　学習内容を、身の回りで活用する場面を設けたり、活用している場面を紹介したりしながら、数学を学ぶ意義や有用性を実感できる指導がしやすいようよく配慮している。 (5)　統計ツールを活用できるようにしたり、紙面では表現できない動きを動画で準備したりすることで、指導に生かせるよう工夫している。 (6) 「学びをたしかめよう」では、問題設定意図と関連ページを示すことで、生徒自身の自己評価や指導者の評価に役立つよう工夫している。
全体的な特色	○　生徒が興味・関心を深めて数学を学ぶ楽しさや意義を実感しながら自分の学びを広げていけるよう工夫している。 ○　数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通して、主体的に学習する態度を養うことができるよう工夫している。 ○　文章・図版などのレイアウトについて、多様な生徒にとってわかりやすく見やすくなるよう工夫している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　数学　]

発行者名 / 選定基準	東京書籍（新しい数学）
教科の目標からの配慮	○　繰り返し学習や典型的な誤答例を掲載する構成にすることで、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるようよく配慮している。 ○　問題解決の過程を振り返って評価・改善する態度や数学的な見方・考え方を活用する態度が養えるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 多様な考えで解ける問題を扱った後に、具体的なノートへのまとめ方を示すことで、生徒の思考力・表現力が発達段階に応じて高まるよう配慮している。 (2) 身の回りの問題の解決を章全体で行うことで、生徒が興味・関心をもちながら学べるよう配慮している。 (3) 生徒がシミュレーションを利用して考えることで、数学的に表現・処理する力を伸ばせるよう工夫している。 (4) 「深い学び」のページでは、生徒たちが問題を解き進むうちに自然と主体的・対話的な学習になるよう、紙面の構成を工夫している。 (5) 「ちょっと確認」で、生徒が基本的な既習内容の理解を確かにしたり、問題解決で生かした見方・考え方を他の問題の解決で生かせたりするよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 各章のとびらにおいて、育成を目指す数学的に考える資質・能力を明確にすることで、生徒の興味・関心が高まるよう工夫している。 (2) 新たな学習内容と既習内容を関連付けやすくしたり、生徒の発達に即して系統化したりすることで、生徒の、問題解決で働かせた見方・考え方や表現力が高まるよう配慮している。 (3) キャラクターの会話や各章の利用の問題での見出しがあることで、数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的な活動を促す指導がしやすいよう配慮している。 (4) 学習に関連した読み物や他教科と関連のある題材、数学を社会に活用している人の紹介、また、それらに関わる発展的な問題を示すことで、数学の良さや有用性を生徒が実感しやすくなるよう配慮している。 (5) シミュレーションや動画などのデジタルコンテンツを提示したり、つまずく生徒にヒントとなる言葉を示したりすることで、生徒の問題理解や追究への支援に生かせるよう工夫している。 (6) 「黒板ボード」のイラストや□の囲み、「虫眼鏡マーク」などがあることで、基礎的・基本的な知識や問題解決で働かせた大切にしたい見方・考え方を明確に指導できるよう工夫している。
全体的な特色	○　問題発見・解決の過程を充実させることで、知識及び技能が身に付き、思考力・判断力・表現力が高まるよう工夫している。 ○　問題解決で働かせる見方・考え方を引き出し、意識付ける工夫をすることで、見方・考え方が豊かになるよう配慮している。 ○　色覚特性に適応するカラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、わかりやすく読みやすくなるよう工夫している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　［　中学校　］

教科用図書調査研究員会

教科名　　［　数学　］

発行者名 選定基準	学校図書（中学校数学）
教科の目標からの配慮	○　既習内容をもとにして論理的に考察し、数量や図形の性質を見いだすことで、総合的・発展的に考察できるよう工夫している。 ○　身の回りで数学が役に立っている場面を取り上げ、生活や社会に生かそうとする態度を養えるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 本文や問いなどでは、生徒が段階的なステップを踏んで学習が進められ、図、式、説明図なども生徒の理解の手助けとなるよう配置され、また、複数の考え方を示すなど配慮している。 (2) 生徒自ら「問い」を持てるようにしたり、生徒が問題解決の過程を振り返ってより効果的な方法を見いだしたりしていかれるよう配慮している。 (3) 生徒が身の回りの事象から問題を見いだし課題を解決していくことで、数学的に表現・処理する力を育成できるよう工夫している。 (4) 「次の課題へ！」では、生徒たちが既習事項を用いて数学的に説明し、対話的に学習できるよう配慮している。 (5) 既習内容が確認でき、振り返りの場を設定することで、生徒が対応箇所に戻って学び直しができるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 各章とも、導入や本文、例題、その習得を図るための問題と一貫した流れで学習指導ができるよう配慮している。 (2) 章の配列にも一貫性を持たせ、基礎的・基本的な内容が習得できるように、既習内容を示したり、適応問題を用意したりするなど指導のしやすさに配慮している。 (3) 数学的な見方・考え方の例を示したり、友と関わりながら統合的・発展的に考えられるようにしたりして指導しやすいよう配慮している。 (4) 本文中や章末、巻末に発展的な内容の「深めよう！」や教科等横断的な課題の「疑問を考えよう」を設け、個に応じた指導で活用できるよう配慮している。 (5) 「用語・記号の由来」のコラムや、身の回りにある建造物などの写真を取り上げたり、動画コンテンツを準備したりして指導に生かせるよう工夫している。 (6) 項や章ごとに、生徒自身が学習をまとめられるようにし、パフォーマンス課題やパフォーマンス評価の手法を取り入れ、個に応じた評価ができるよう工夫している。
全体的な特色	○　身の回りの事象から問題を発見し、見方・考え方を働かせて主体的に解決する力を養えるよう展開を工夫している。 ○　これからの社会の中で生きていくために必要な資質・能力を育成することができるよう内容を工夫している。 ○　問題解決のポイントになる内容を吹き出しにして追究の見通しを持たせたり、色覚特性に配慮し見やすい色を使用したりしてユニバーサルデザインにも配慮している。

様式Ｂ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年　７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科名　　[　数学　]

発 行 所	主　な　特　色
数研出版	○　章の最初に既習内容の振り返りをすることで、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう配慮している。 ○　章末に他教科や生活と関わる題材を取り上げることで、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養えるよう工夫している。 ○　動画コンテンツを利用して視覚的な理解を支援したり、「数学旅行」で、身近な題材や他教科と関連する題材を取り上げ、興味・関心を喚起したりすることで、主体的に取り組めるよう配慮している。
日本文教出版	○　数学的な表現を用いて筋道を立てて説明し合う学習場面を設け、思考力・判断力・表現力を育成できるよう配慮している。 ○　単元前に関連する既習内容を振り返る場面が設けられ、節末、章末、巻末で繰り返し学習できるよう配慮している。 ○　動画コンテンツでの視覚的支援や、キャラクターの吹き出しで生徒に追究の見通しを持たせるなど、学習指導に生かしやすいよう工夫している。
教育出版	○　日常生活や社会の事象と数学の事象を関連させ、数学的活動を通して、生徒が思考力や表現力を身につけられるよう配慮している。 ○　問題解決への学習活動の流れを示し、試行錯誤しながら、数理的に捉えていく過程を体験することで、生徒が問題解決力の高まりを実感できるよう配慮している。 ○　章末には学習した内容の振り返りが項目ごとにまとめられ、章末問題では、それぞれの評価基準を示し、個々の生徒が自己評価できるよう工夫している。
大日本図書	○　数学を学ぶよさ、考え方の多様性を実感し、よりよく物事を解決していく態度を養えるよう配慮している。 ○　説明する活動では、複数の考え方や表し方を読み取り、それを考察、比較して、数学的な思考力・判断力・表現力が身につくよう配慮している。 ○　各小単元で、学習の「めあて」が示してあり、追究内容や方法を明確にして追究ができ、既習内容を生かした解決の仕方を学べるよう配慮している。

【 理　科 】

東京書籍
大日本図書
学校図書
教育出版
啓林館

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　理科　]

発行者名 選定基準	東京書籍（新しい科学１～３）
教科の目標からの配慮	○　生徒の興味・関心を喚起できるよう導入に写真やイラストを配置することで、主体的に探究する力が育まれるよう配慮している。 ○　単元の終末で導入時の問いを振り返ることができるようにすることで、自己の思考の変容や成長を実感できるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 既習事項や他教科と関連する項目を下線で強調したり、全ての章でページ下部に統一された探究の流れ（フローチャート）を示したりして、生徒が主体的な探究活動が進められるよう配慮している。 (2) 単元の導入に、生徒が気づきや疑問を生じる問いや、興味関心を高める写真資料等を配置することにより、主体的な探究活動を促すよう工夫している。 (3) 思考する場面に、対話例や注釈、イラスト等を効果的に位置づけ、生徒のつまずきへの支援や、対話的な活動を促せるよう工夫している。 (4) 観察、実験ごとに安全面や環境面に関わる注意事項を、注目を促すマークと共に示している。 (5) シミュレーションコンテンツや動画教材、練習ドリルなどインターネットを活用して自主学習が進められるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 問題発見や課題設定の場面では、はたらかせる理科の見方・考え方が示され、科学的に問題解決の過程を歩ませることができるよう配慮している。 (2) 見開きの授業時数が１時間になるよう編集され、育む資質・能力がページ下部の「探究のステップ」と対応するよう示していることで、つける力を意識した学習ができるよう配慮している。 (3) 観察、実験の手順が一目で分かるよう工夫してあり、注意事項も同一のマークで示されるなど、安全面での指導に配慮している。 (4) 身近なものを対象とした図や写真を多数掲載することで、日常生活と科学とのつながりを実感させられるよう工夫している。 (5) 実験結果を基にまとめを行えるよう構成が工夫され、章末で示された記述例との比較により、評価に生かせるよう配慮している。
全体的な特色	○　探究の手がかりとなる考え方を対話例で示し、つまずきへの支援とするとともに意欲が持続するよう配慮している。 ○　上から下への自然な視線の動きに配慮した内容の配置が、生徒の探究の思考と無理なくつながるよう工夫している。 ○　観察・実験の手順や基礎操作で、できるだけ単語の途中で改行しないよう配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　理科　]

発行者名 選定基準	啓林館（未来へひろがるサイエンス）
教科の目標からの配慮	○　各節ごとに「課題把握」→「課題追究」→「課題の解決」がわかりやすく展開されている。探究を通して資質・能力を育てるため、１年間の最初から探究を意識して学習が進められるように構成している。 ○　日常生活や社会に関連した、コラムや終章「ひろがる世界」を掲載することで、科学が身近なものであり理科の有用性を見いだすことができるように配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 単元の導入で、身の回りの疑問について予想する場面を設定することで、生徒が見通しをもち学習できるよう工夫している。 (2) ＱＲコンテンツの導入動画によって、実験への意欲を高めて仮説や計画のヒントが得られるよう配慮している。 (3) 探究しやすい題材を選び、仮説や計画などを生徒自身が考える「探Ｑ実験」を各単元に１つ設定することで主体的・対話的で深い学びができるような工夫をしている。特に、探究の課程での自分の考えを書き込むことができる「Q シート」を設けることで、探究の流れをつかみ、主体的に学習ができるよう工夫している。 (4) 図や写真は上部、本文は下部で中央になるようレイアウトされており、生徒にとって読みやすくなるように配慮している。 (5) 「みんなで探Ｑｸﾗﾌﾞ」で学びを活用して日常の疑問を探究するページを設けることで、生徒が理科の見方考え方をはたらかせる場面を設定している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 「みんなで解決」で身の回りにある問いについて、自発的な話し合いができるような工夫をしている。 (2) 「つながる学び」で小学校の既習内容を振り返り、「つながるページ」で中学校、「発展」で高校へ見通した学習ができるよう工夫している。 (3) 章末問題は、入試を想定しあえてフォントを小さくしグレー調にして問題を配置することで、思考力や表現力を高める指導ができるようにしている。 (4) 実験観察等において注意を促すマーク（保護眼鏡、換気、廃液処理、やけど注意など）や色使いで、安全面に対する配慮をしている。 (5) 「持続可能な開発目標（SDGｓ）」について随所に掲載することで、世界的な課題に目を向けさせることができるようにしている。
全体的な特色	○　資料性が高い大きな図版や珍しい写真が多く、興味関心をもって学習に取り組めるよう配慮している。 ○　自分の予想や考えをもちながら学習に取り組めるような構成となっており、科学的に探究するための資質や能力が育つような工夫をしている。 ○　重要語句はフォントの大きさを工夫し、誰でも読みやすく、読み間違えにくい紙面の構成になっている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　理科　]

発行者名 選定基準	学校図書（中学校科学１～３）
教科の目標からの配慮	○　科学的に探究する方法が巻頭で詳しく説明されており、思考力・判断力・表現力等が身に付くよう配慮している。 ○　記載内容の厳選や結果、考察、振り返りの例示などによって、知識や技能が身に付くよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 各単元冒頭に「ふり返ろう・つなげよう」を記載し、既習事項とこれから学ぶこととの関連性や系統性について生徒が意識できるよう配慮している。 (2) 全ての授業時間ごとに、課題に対してはたらかせる見方・考え方の例をページ右上部に掲載しており、探究活動の参考とできるよう配慮している。 (3) キャラクターによる目的意識をもった話合いの例示とともに巻末のホワイトボード紙面で対話活動を促すよう工夫している。 (4) 観察・実験の手順を実物写真で示し、手元の操作と比較しやすくなるよう工夫している。 (5) 「Can-Do List 自己チェック」の QR コードから、章のまとめや基礎問題を確認できるよう工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 必要なことを端的に学習する構成により、実情に応じて、探究活動や学習内容の定着に時間を使えるよう工夫している。 (2) 年間指導計画で想定された全ての授業時間において、課題解決のための見方・考え方の例が示されており、資質・能力を育む指導に配慮している。 (3) 各学年の探究過程の重点は、各小単元の学習問題へつながるように「問題発見」として例示されており、重点項目を意識して学習をすすめられるよう工夫している。 (4) 章前後の「Can-Do List」に身に付ける資質・能力を明示し、つける力を意識して学習ができるよう工夫している。 (5) 観察・実験の手順は写真とともに見開きページで示し、注意を促す色使いとマークで指導に生かせるよう配慮している。
全体的な特色	○　各時間や章ごとに理科の見方・考え方や育成する資質・能力が明記され、探究の方法や過程が一目で分かるよう工夫している。 ○　必要なことを効率的に学べるように学習内容が厳選されており、実情に応じた生徒の支援ができるよう配慮している。 ○　重要な部分を囲むこと、注意事項は赤や黄色で示し、他の部分はパステルカラーで示すことなど、見やすさを工夫し色覚の特性に配慮している。

様式Ｂ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科名　　[　理科　]

発 行 所	主　な　特　色
大日本図書 （理科の世界）	○　観察、実験の次のページに、結果と考察の例文を示し、思考力や表現力を高められるよう配慮している。 ○　探究の過程を「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」「話し合おう」という５つの項目で表し、生徒自らが探究活動に取り組めるように配慮している。また、探究活動を通して重点的につけたい力が学年ごと、実験ごとに明確になるよう配慮している。 ○　単元配列が、観察、実験に適した時期になっているとともに、学年によって必要な器具が重ならないように配慮している。
教育出版 （自然の探究 中学理科１～３）	○　各学年で「探究の進め方」を掲載し、各単元で具体的な流れとして表すことで、探究する力が育まれるよう配慮している。また、「探究の進め方」のページを開いた状態で、探究中も常に対照できるよう紙面を工夫している。 ○　キャラクターによる対話のモデルを予想や考察の場面に配置し、主体的・対話的な学びが実現されるよう配慮している。 ○　学習内容のつながりを意識した単元配列が学年を越えて図られているとともに、小・中・高の内容の系統や他教科との連携が図られることで、単元の関係性や連続性に配慮している。

【 音楽（一般） 】

教育出版
教育芸術社

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　音楽(一般)　]

発行者名 / 選定基準	教育芸術社
教科の目標からの配慮	○　「目次」と「学習内容」が連動していてわかりやすい。教材ごと「題材の目標」がページ左端に、「学習目標」が教材名の下に示されていて、一目でわかるよう工夫している。 ○　音楽の要素を明確に示し、生徒自身が多面的に音楽表現や学びの幅を広げる工夫をしやすいよう配慮している。 ○　ワークシートや資料が充実しており、身近な生活や文化とも関わらせながら音楽に親しんでいけるよう十分に配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 「学びの地図」に、思考・判断・表現力、知識、技能の三つの評価項目に沿って学習内容を示し、既習事項や他の題材との関わりがわかりやすく、学年の発達段階に応じた題材配列になるよう配慮している。 (2) 作者からのメッセージやコラムが全曲に渡って記載されておりイメージをもちやすい。新曲が魅力的で、変声期の生徒に適した教材が多く取り入れられていて、生徒の意欲を高められるよう工夫している。 (3) 創作の題材では、丁寧に手順が書かれており、生徒が創造的な学習を友と関わって対話的・協働的にできるよう配慮している。 (4) 鑑賞領域では、幅広いジャンルや地域の楽曲を取り上げていて、ワークシートを用いた学習や豊富な資料によって、より深く楽曲の価値を味わえるよう工夫している。 (5) 生徒の興味関心に沿った新しい感覚の表紙を採用している。挿絵、口絵、吹き出し、資料などが増加し、情景に合った大型の写真が採用され、生徒の意欲を高め理解を深められるよう十分に配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 生徒の発達段階に応じた幅広い視野で精選された基礎的・基本的な内容であり、年間を見通した系統的な題材配列の工夫をしている。 (2) キャラクターの言葉にヒントを得たり、ワークシートの記述をもとに話し合ったりして、対話的・協働的に学ぶ力を育む指導に配慮している。 (3) 「指揮をしてみよう」では各学年の学習内容に沿って具体的な楽曲を使いながら体験的活動を取り入れた指導ができるようより工夫している。 (4) 日本の伝統音楽や郷土の音楽文化についての学習内容が充実していて、地域の伝統を意欲的に学べるよう指導に配慮している。 (5) 歌唱に関わる写真や資料が現在の教科書より増え、生徒が情景や心情を思い浮かべながら演奏を工夫する指導ができるように配慮している。 (6) 生徒が自ら学習を見通したり知覚・感受したことを振り返ったりできるよう促すために多様なワークシートを工夫している。
全体的な特色	○　表紙、表紙裏のインタビュー、口絵、資料、吹き出しなどが生徒の意欲を高め、具体的なワークシートにより題材の見通しをもちやすく、主体的・対話的・協働的に学びを深めていけるよう十分に配慮している。 ○　必要なページにＱＲコードが掲載されていて、生徒が自主的にその題材で学習に必要な情報をすぐに得られるよう工夫している。 ○　色彩が落ち着いていて、レイアウトがすっきりして見やすく、ルビが太字ではっきりわかるようになっている等、生徒が学習しやすいようユニバーサルデザインにもより配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　音楽(一般)　]

発行者名 / 選定基準	教育出版
教科の目標からの配慮	○　各題材に示している「学習目標」が具体的であり、教材を構成する要素（教材の価値）に迫りやすいよう工夫している。 ○　各教材で音楽の要素が明示されており、生徒側からも学習内容が分かって見通しがもてるよう配慮している。 ○　教材を構成する要素に迫りやすいように工夫したワークシートを使い、学習の手順に添って主体的に音楽に親しめるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 「学びのユニット」には題材ごとに音楽を形づくっている「要素」を示してあり、既習事項や他の題材とのつながりを確認することができ、学年の発達段階に応じた題材配列になるよう配慮している。 (2) 歌唱教材は選曲が良い。生徒が興味をもち親しみやすい曲がある。新しい曲ばかりでなく心動かされるような従来の曲も選ばれ、生徒の意欲が高まるよう工夫している。 (3) 歌唱教材や創作教材のワークシートが具体的で分かりやすい。比較歌唱や比較鑑賞により、それぞれの楽曲のよさや特徴を理解することができ、主体的に表現を工夫しやすいよう配慮している。 (4) 鑑賞領域では、西洋、日本、そのほかの諸外国の楽曲が幅広く取り上げられていて、ワークシートを用いた学習や比較鑑賞によってより深く楽曲の価値を味わえるように工夫している。 (5) 音楽年表、ポピュラー音楽図鑑、音楽の３要素等の資料が多く、学習への意欲を高め理解を深めるための工夫をしている。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 小学校の学習内容とのつながりを意識し、生徒の発達段階に応じて無理なく音楽に親しめるような題材の配列を工夫している。 (2) 「ＡＣＴＩＶＥ（すすんで学びあおう）」では、ワークシートに学習の手順を示してあり、キャラクターの「学習のポイントやヒント」から主体的・対話的で深い学びに通じる指導ができるよう工夫している。 (3) 鑑賞と表現の活動が関連づけられていて、生徒が多様な音楽活動を体験できるような指導に配慮している。 (4) 「CM ソングをつくろう」では、自分の地域と関わって創作をすることができ、生徒の関心・意欲を高めやすい指導ができるよう工夫している。 (5) 歌唱教材に関する写真が口絵に大きく取り上げられ、歌詞の情景が思い浮かびやすく、表現のためのイメージをしやすい指導に配慮している。 (6) 各教材の「学びのユニット」にみられるように、学びのねらいと活動などが示され、評価の観点が明確になるよう配慮している。
全体的な特色	○　イメージを喚起するような写真が豊富でキャラクターの吹き出しによる問いかけなど誰にでも親しみやすい。ワークシートを利用して主体的･協働的･対話的な学習が展開されるよう工夫している。 ○　ＱＲコード「まなびリンク」は、範唱・範奏を聴いたりパートごとに歌ったりでき、生徒が自主的に活用できるよう工夫している。 ○　色彩は落ち着いていて、レイアウトがはっきりしていて見やすい、ルビがふってあってわかるようになっている等、生徒が学習しやすいようユニバーサルデザインにも配慮している。

【 音楽（器楽） 】

教育出版
教育芸術社

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　音楽(器楽)　]

発行者名 / 選定基準	教育芸術社
教科の目標からの配慮	○　各楽器の基礎的な奏法を丁寧に示し、練習曲やアンサンブル曲の学習をとおして技能が段階的に身に付くよう十分に配慮している。 ○　技能の習得に偏ることなく、関連する楽曲の鑑賞や楽器を使った創作活動など、器楽を窓口にして幅広く音楽の楽しみに触れる工夫をしている。 ○　各楽器の奏者や奏法、また世界の民族音楽の豊富な写真を掲載することで、楽器の演奏への興味関心を高め、幅広い音楽文化に触れながら音楽的な心情を高められるよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)　小学校の学びを生かしてそれぞれの楽器ごとに基礎的な奏法を扱っており、中学生の発達段階に応じた曲の配列になるよう工夫している。 (2)　様々な難易度の練習曲を掲載しているため、生徒の演奏技能に応じた曲を選択することができ、段階的に学習できるよう配慮している。 (3)「深めよう！音楽」「Ｑ＆Ａ」「演奏のポイント」などで、生徒たちが表現工夫や技能向上を主体的に学習できるよう工夫している。 (4)　各楽器の練習曲の他に様々な楽器によるアンサンブルの楽譜も多く掲載されていて、打楽器のコーナーも充実しており、生徒が多くの種類の音楽や楽器に触れ、よさを感じられるよう十分に配慮している。 (5)　写真や図などを様々なアングルで大きめに配列し、奏法や各部の名称など生徒がわかりやすいように視覚的な工夫があり、意欲的に学習しやすいよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)　それぞれの楽器の演奏家による正しい奏法が写真で掲載され分かりやすい。徐々に楽曲の難易度が上がるように配列していて、無理なく自然に技能を向上できる指導がしやすいようによく工夫している。 (2)　関連する鑑賞曲を示したり楽器による創作のページを掲載したりして、表現活動に偏ることなく幅広く発展的に指導できる配慮をしている。 (3)「深めよう音楽」では生徒の意欲を高め対話的な深まりが見られるような活動が紹介され、生徒の主体的な学習を促すための配慮をしている。 (4)　多くの曲がソプラノリコーダーにも対応しており、アルトリコーダーを履修しない学校や生徒個人への弾力的な配慮をしている。 (5)　各楽器の奏法など、写真や図で手の細部までわかりやすく、生徒に指導しやすいよう工夫している。 (6)　曲の初めに目標を示したり楽器の奏法を具体的な言葉で示したりして、生徒が自己評価しながら学習を進める指導ができるよう工夫している。
全体的な特色	○　表紙、表紙裏のインタビュー、口絵、資料、吹き出しなどが生徒の意欲を高め、具体的なワークシートにより題材の見通しをもちやすく、主体的・対話的・協働的に学びを深めていけるよう十分に配慮している。 ○　必要なページにＱＲコードが掲載されていて、生徒が自主的にその題材で学習に必要な情報をすぐに得られるよう工夫している。 ○　色彩が落ち着いている、レイアウトがすっきりして見やすい、行間が広くて字が読みやすい、ルビが太字ではっきりわかるようになっている等、生徒が学習しやすいようユニバーサルデザインにもより配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　音楽(器楽)　]

発行者名 / 選定基準	教育出版
教科の目標からの配慮	○　各教材の目標と音楽を形づくっている要素が示され、演奏のポイントを押さえながら楽器の基本的な奏法を習得できるよう工夫している。 ○　リコーダーやギターに加えて様々な和楽器が取り上げられており、技能の習得に偏ることなく、我が国や諸外国の音楽文化への関心が高まるよう工夫している。 ○　様々な楽器が扱われ、写真や絵で演奏方法が記載されているほか、楽器の特徴が理解しやすいよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) それぞれの楽器ごとに基礎的な奏法や姿勢などから始まって、中学生の発達段階に応じて学習できるように曲の配列を工夫している。 (2) 様々な難易度の練習曲を掲載していて、生徒の技能に応じた曲を選ぶことができ、段階的に学習できるよう配慮している。 (3) 「音のスケッチ」では即興演奏やお囃子などに挑戦でき、「何が同じで何が違う？」では比較して楽器の特徴をつかむなど、生徒の主体的な活動への配慮をしている。 (4) 様々な楽器のアンサンブルを楽しむために、曲や楽器を自由に選べるよう工夫している。 (5) ギターのコードを写真で示し、キーボードの鍵盤の絵も大きくわかりやすい。奏法や各部の名称など生徒が理解しやすいよう工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) ページごとに難易度が上がるように教材を配列しており、基礎から発展的な学習まで無理なく指導できるよう配慮している。 (2) 鑑賞分野や創作分野と関連させるなど、他分野との関連を図れるよう配慮している。 (3) 楽器の特徴についての紹介や幅広いジャンルの曲に触れられること、「音のスケッチ」のような即興演奏やお囃子を取り入れるなど、多様な音楽を生徒が体験しつつ学べる指導ができるよう工夫している。 (4) リコーダーではアルトリコーダーだけでなく、ソプラノリコーダーでも演奏でき、学校の実態や生徒個人に応じて弾力的に取り組めるよう配慮している。 (5) 楽器の演奏の仕方やギターのコード表など実際の奏者が演奏している写真を掲載し、生徒が主体的に学べる指導ができる工夫をしている。 (6) それぞれの楽譜の見出しに目標が示され、評価の観点が明確になるよう配慮している。
全体的な特色	○　図や絵、写真などで奏法や運指を示していて視覚的にも分かりやすく、鑑賞や創作の学習とも関連した題材や資料が多く掲載されており、主体的・協働的・対話的な学習をしやすいよう工夫している。 ○　ＱＲコード「まなびリンク」は、範唱・範奏を聴いたりパートごとに演奏したりして生徒が自主的に活用できるよう工夫している。 ○　色彩は落ち着いていて、レイアウトがはっきりしていて見やすい、ルビがついていて読みやすい等、生徒が学習しやすいようユニバーサルデザインにも配慮している。

【 美　術 】

開隆堂出版
光村図書
日本文教出版

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年　７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　美術　]

発行者名 / 選定基準	日本文教出版（美術）
教科の目標からの配慮	○　各題材や用具の扱いについて、「学びを支える資料」を各巻末に紹介することで、追求が深められるように配慮している。 ○　多くの作品や写真、作者の言葉を掲載することで、見方や感じ方を広げ、造形的な視点が磨かれるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 領域の中に、各学年の発達段階に応じた表現活動が紹介され、使用されている材料なども複数取り上げており、生徒が無理なく表現方法が選べる配慮をしている。 (2) 生徒の表現の意図や追求の道筋を「作者の言葉」や「制作中の具体的な生徒の姿」で紹介することで、新たな発想を得ながら、造形活動を行えるように工夫している。 (3) 3観点の「学びの目標」が色別のマークでページ上段に表示されており、いつでも主題や表現方法が振り返ることができ、主体的・対話的な活動に役立つよう工夫している。 (4) 巻末には用具の安全な使い方について、図や写真、目立つマークを使って視覚的に伝わりやすい配慮をしている。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 学年ごとに1冊、計３冊にまとめられており、特に2年時から3年時の学習内容の違いを意識する配慮をしている。 (2) 題材の目標には、表現活動に鑑賞が含まれる事が分かりやすく記述されており、表現と鑑賞が一体的に指導できる工夫をしている。 (3) 各題材のページごと、「造形的な視点」が設定されており、生徒自ら見方や感じ方を広げられる指導が行える配慮をしている。 (4) 巻末に各学年の題材に対応した技法や材料に関する資料が掲載され、思いを具体的に表現できる配慮をしている。 (5) 実際の色合いや色彩に近づけた図版や実物大の図版を効果的に載せ、興味関心を高め、表現への手助けとなる配慮をしている。 (6) 資質・能力の三つの柱に関連させた学習目標が示され、生徒が学びを振り返り、言葉で表現したり、表現の広がりに気づけたりできるようにし、学びを次の学習や生活に活かせる指導ができるよう工夫されている。
全体的な特色	○　3分冊による学年ごとの題材構成で、大きく見やすい図版を用いて、生徒がより興味をもって主体的に学べる工夫をしている。 ○　「造形的な視点」による〔共通事項〕への気づきを促す発問形式が示されており、追求をより深めていける工夫をしている。 ○　題材名、主文はUDフォントを使用し、また写真資料も原寸大に近い大きさで掲載されており、見やすい上に創作への興味関心が高まる工夫をしている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　美術　]

発行者名 / 選定基準	開　隆　堂（美術）
教科の目標からの配慮	○　題材ごと学習の目標が示され、理解や表現の工夫ができるように配慮している。また多様な作品や制作過程が示され、豊かに発想し主題を生み出せるよう配慮をしている。 ○　生活や社会の中の美術や美術文化が掲載され、美術を愛好する心情、心豊かな生活を創造していけるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 題材の様々な展開を示す作品例と、色や形、造形的な特徴などが紹介され、生徒の発達段階や主題に応じた表現ができるよう配慮している。 (2) 多くの作品や写真、「作者の言葉」、鑑賞のページから見方や感じ方を広げられ、作品づくりのイメージをふくらめながら、発想や構想につなげられるように配慮している。 (3)「学習のポイント」があり、題材の中で何を追求したら良いか見通しをもって表現できるよう配慮している。 (4) 安全面で配慮するべき活動には「！マーク」が示され、注意すべき点が見やすく、すぐに目につくように配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 学びの地図で各領域の学びがわかりやすくまとまり、また、領域ごとの学びの意義が示され、どんな学習をどう進め、どんな力が求められるのか系統的に指導できるように配慮している。 (2) 題材ごとに鑑賞のページが設けられ、自分の表現を振り返り、表現を広げたり、他者の作品の良さに気づいたりする指導が出来るよう配慮されている。 (3) 学習のポイントが示され、表現の見方･考え方に気づき、学びを振り返る指導ができるよう工夫している。 (4) 巻末に技法や美術史についての資料が掲載され、知識理解を深めることができ、資料集としての役目を果たすことができる。 (5) 題材ごとに参考となる web コンテンツを活用できるようにして、教科書に掲載されているもの以外の作品を自由に鑑賞し、表現の幅を広げられるようにしている。 (6) 各題材のはじめに学習の目標が示され、目標に照らし合わせながら、制作の見通しをもてる指導が出来るよう工夫されている。
全体的な特色	○　２冊構成となっており扱いやすい。領域ごとの意義、各題材の標が整理されており、学習活動を系統的に構成している。 ○　題材ごと体裁が共通しており見やすい構成となっている。主体的な学びとなるよう配慮している。 ○　ゴシック体を用いユニバーサルデザインが採用され、また、写真の整理、空間の確保がされ見やすい配置・構成となっている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　美術　]

発行者名 選定基準	光村図書（美術）
教科の目標からの配慮	○　巻末には多様な表現や道具、制作の手順も掲載され、知識及び技能に興味関心を高め、習得の手助けとなるよう配慮している。 ○　各題材で鑑賞活動を設定したり、生徒の制作過程を紹介したりして、生徒が発想や構想を広げられるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 各学年での発達段階に応じた材料や道具を取り上げ、表現方法の幅を持たせた作品類を紹介し、生徒が表現しやすいように配慮している。 (2) 発想構想の段階では、制作過程を「みんなの工夫」として写真で紹介し、生徒が制作する時のヒントになるよう工夫している。 (3) 鑑賞教材では、構図の仕組みをトレーシングペーパーで直接書き込むなど、主体的に鑑賞活動ができるよう工夫している。 (4) 巻末資料の中で、取り扱いが危険な道具については、注意喚起マークと目立つ配色で注意を促すよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)　１年では身近なもの、２・３年生ではり自分の内面と向かい合ったり、生活や社会との関係に視野を広げたりできる指導ができるように配慮している。 (2) 多数の作品を比較鑑賞でき、表現や文化の多様性を知る事を通して作品に対する見方や感じ方を広げられるよう配慮している。 (3) 生徒同士の対話や、多数の作品を比較できる鑑賞などにより、表現や文化の多様性を知り、授業を通して作品に対する見方や感じ方を広げられる指導ができるよう配慮されている。 (4) 巻末資料に、「材料」「用具」「技法」「形」「色彩」などが細やかに分けられ、複数の具体物を例示しながら解説されている。 (5) Web コンテンツへ導く言葉を定位置に掲載し、制作の過程や道具の使い方についての指導ができるように工夫している。 (6) 各題材の題材名の下に、造形的な見方や考え方を働かせることに関わる目標が総括的に示され、まとめの鑑賞で目標に示されたことを振り返る指導ができるように配慮している。
全体的な特色	○　全体にわたり生徒に寄り添った観点で丁寧につくられている。 ○　美術が、幅広く社会に関係している事が伝わるよう工夫している。 ○　レイアウトに関しては特にすっきり整理されており、写真と文字を分けるなど見やすく、読みやすくなるように配慮している。

【 保健体育 】

東京書籍
大日本図書
大修館書店
学研教育みらい

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年　７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　保健体育　]

発行者名 選定基準	学研教育みらい（中学保健体育）
教科の目標からの配慮	○　「課題をつかむ→考える・調べる→まとめる・深める」という構成で、課題解決的な学習ができるように配慮している。 ○　全ての学習内容に「まとめる・深める」が設けられ、その時間で習得した知識を活用できるように工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 話し合い活動を多く取り入れ、思考力・判断力・表現力等を高め、主体的・対話的に学習を進められるように配慮している。 (2) 全ての「課題をつかむ」にイラストや写真が入っており、自らの生活や運動を想起しやすいように工夫している。 (3) 本文の小見出しの横に、問いかけがあり、学習内容を想起しながら読み進め、考えられるように工夫している。 (4) 見開きで１時間分、１ページの中で本文が左、資料が右に統一されており、関連づけて学習を進められるように工夫している。 (5) 口絵に全国共通と地域の相談窓口と連絡先を明示し、思春期の悩みを誰かに相談できるように配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 章扉に写真と小・中・高の学習内容の系統性、関連項目、「最前線を知る人」を載せ、導入段階で興味・関心を高める指導ができるように配慮している。 (2) 学習内容をキーワードでまとめ、体育理論・保健・体育実技・各教科と関連させて指導ができるように工夫している。 (3) 「見方・考え方」がマークで明示され、見方・考え方を生徒と共有しながら学習を進められるように配慮している。 (4) 写真が多く具体的な地名も記載されており、自分たちの地域と比較・検討しやすい指導ができるように工夫している。 (5) 章のまとめの観点別自己評価や問題とキーワードで、知識の定着の確認や学習内容を生活に活用していく指導ができるように工夫している。
全体的な特色	○　授業の構成、大きな写真や章末・巻末資料の充実により、自らの生活と関連付けて主体的に学べるように工夫している。 ○　各章末の「探求しよう」によって、既習事項を基に思考力、判断力を働かせ、深い学びを実現できるように工夫している。 ○　細く優しいフォントで太字の重要語句を強調し、学習活動のボックス内をクリーム色で統一して見やすく配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年　７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　保健体育　]

発行者名 選定基準	大修館書店（最新中学校保健体育）
教科の目標からの配慮	○　学習内容と自分の生活との関連を基に追究し、理解の定着を図ることができるように配慮している。 ○　学習の流れや系統性を具体的に示し、生徒が見通しや興味・関心をもって学習を進めていけるように工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) １時間を３つの段階による構成にし、「コラム」を掲載して本文と関連させて知識を広げられるように配慮している。 (2) 学びを広げたり、深めたりするために、「クローズアップ」を設け、主体的に学習ができるように工夫している。 (3) 学習のまとめの「確認しよう・生かそう・話しあおう」で学習した内容を定着、広げ、発展させていけるように工夫している。 (4) 見開きで本文が中央、資料が左右両端にほぼ統一されており、資料を視覚的に関連づけて活用できるように配慮している。 (5) 感染症予防の項目で飛沫による感染防止のマスクの有効性や３つの咳エチケットを扱い、生活に活かせるように工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 章扉に写真とともに、その章に関連する小・中・高の学習内容を示し、系統性を指導しやすいように工夫している。 (2) 「課題をつかむ」の下に「関連マーク」を設け、関連する内容がある場合に指導しやすいように工夫している。 (3) 「保健の窓」で補足説明や自分ならどう考えるかを問い、思考力・判断力を引き出し高める指導ができるように配慮している。 (4) 章末に、知識・技能の確認問題を設け、知識の定着や理解を深める指導に活用できるようにしている。 (5) 「章のまとめ」で、資質・能力及び振り返りを記入する欄を設け、授業改善や学習評価に活用できるように工夫している。
全体的な特色	○　全単元で学習に見通しをもって臨むことができるように、１時間の授業の構成を統一している。 ○　章扉では写真、イラスト、吹き出しで学習の見通しと章末では学習内容を振り返りやまとめがしやすいように工夫している。 ○　タイトルと小見出しに大きめのフォントを使い、資料も点線で囲み背景をクリーム色にして見やすく配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年　７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　保健体育　]

発行者名 選定基準	大日本図書（中学校　保健体育）
教科の目標からの配慮	○　全ての学習内容において、「キーワード」で振り返ることで知識の定着を図ることができるように配慮している。 ○　３年間の保健体育学習と自己実現との繋がりを示し、全体像を捉えて見通しをもって学ぶことができるように工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) １時間を３つの段階による構成にし、「ミニ知識」を掲載して生活と関連させて考えられるように配慮している。 (2) 「つかもう」の導入場面での端的な問いかけにより、身近な疑問から興味をもって学習に取り組めるように工夫している。 (3) １学年では発達段階を考慮し、本文を単語の途中で改行せず、読みやすいように配慮している。 (4) 見開きで左半分が本文、右半分が資料と本文と資料を分けて整理し、写真や図表も大きく見やすく工夫している。 (5) 心肺蘇生法の手順について、写真で見開き３ページに示され、実習時に活用しやすいように工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 章扉に写真とその章に関連する小・中・高の学習内容を矢印で示し、系統性が指導しやすいように工夫している。 (2) 本文下に「リンク」を設け、単元相互や他教科との関連を図りながら指導することができるように工夫している。 (3) 全ての本文左に「トピックス」を設け、学んだ知識を実生活と関連させながら深める指導ができるように配慮している。 (4) 「話し合ってみよう」のページを設け、対話的に学びながら見方・考え方を広げる指導ができるように配慮している。 (5) 章末に「学びを活かそう」のページを設け、身につけた知識を生活に当てはめて考え、学びを深めていく指導ができるように工夫している。
全体的な特色	○　本文と資料を分けて示し、学習内容を整理しながら学ぶことができるように工夫している。 ○　豊富な口絵により、興味関心を引き出し、主体的に学習が進められるように工夫している。 ○　タイトルや小見出し、本文の文字、資料のグラフの線も太く配色を含めクリアな印象で見やすく配慮している。

【 技術・家庭（技術分野） 】

東京書籍
教育図書
開隆堂

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　技術・家庭(技術分野)　]

発行者名 / 選定基準	東京書籍 (新しい技術・家庭　技術分野　未来を創る　Technology)
教科の目標からの配慮	○　原理・法則や基本的な仕組みについて裏付ける図などを掲載し、科学的な思考に基づく知識が取得できるよう配慮している。 ○　見方・考え方を確認する活動を設け、統一された問題解決の流れを示し、自分自身の見通しがもてるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の３要素に沿って系統的に配列している。 (2) ガイダンスや各編の題材の構成が、「調べてみよう」「やってみよう」「考えてみよう」等の身近な問題から、生活を工夫し、創造することができるよう工夫している。 (3) 生活を実感的にとらえるために「技術のとびら」「技術の匠」「技術の工夫」など興味をもって追究できるよう配慮している。 (4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、巻頭に示したり、文中に「安全」マーク、「衛生」マークで示したりして、安全に作業できるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 各編の冒頭に「リンク」「他教科」「小学校」マークを用いて、教科間・学校種間の連携が高められるよう配慮している。 (2) 環境に関連する内容には「環境」マークを付し、環境の保全や省エネルギーなどに対応していく態度が身に付くよう配慮している。 (3) 各編で、見方・考え方を用い、理解する・問題解決に取り組む・つなげる、広げるという学習の流れを積み重ねることで主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫している。 (4) 活動や問題解決例を多く掲載し、主体的に調べたり、協働して比較・検討したりするための発問などを設け、深い学びのための工夫や社会との連携を考えられるよう配慮している。 (5) さし絵・写真・図表等の内容は適切で、説明やタイトルなどを記述している。伝統的な製作物から新素材や最新の建造物等まで幅広く取り扱うことができるよう配慮している。 (6) 「チェック　技術の見方・考え方」で問題解決を確認し、「学習のまとめ」で知識・技能の確認や考えを深め生活に生かすためのまとめができるよう項目や観点を工夫している。
全体的な特色	○　技術を学ぶよさを感じられるよう、「問題解決カード」をもとに、生徒が主体的に問題解決できるよう工夫している。 ○　多様な題材を取り入れ、製作・実習の際のつまずきを写真や図で示すなど、円滑に学習できるように工夫している。 ○　さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、本文の書体はＵＤフォントを使用している。写真や図版を多く用いて製作工程を示し、製作の流れが詳しく分かるよう配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　技術・家庭(技術分野)　]

発行者名 選定基準	開隆堂 （技術・家庭　技術分野　テクノロジーに希望をのせて）
教科の目標からの配慮	○　基礎的・基本的な知識および技能の習得を通して社会や環境と技術との関わりについて理解を深められるよう配慮している。 ○　社会や環境と技術の関わりについての理解に基づき、技術の在り方や活用の仕方を評価・活用する態度を育む配慮をしている。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)「生活や社会と技術」「技術による問題解決」「これからの技術」の三要素に沿って系統的に配列している。 (2)「調べてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」などの身近な問題から、生活を工夫し、創造できるように、ガイダンスや題材構成を工夫している。 (3)「参考」「探究」「コラム」で興味・関心をもった追究ができるようにすることで、生活を実感的に捉える配慮をしている。 (4) 安全な作業の方法や事故防止のポイントを、はじめに全体像をイラストで示したうえで「安全」マークを記して配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 各内容の扉に「小学校との連携」「中学校他教科との関連」があり、既習事項や他教科と連携を図れるよう配慮している。 (2) 環境に関する部分には「環境マーク」を付して、環境への意識を高め、循環型社会に対応していく態度が身に付くよう配慮している。 (3) 見方・考え方を用い、気づく・はたらかせる・定着させるという学習の流れを積み重ねることで、主体的・対話的で深い学びにつながる授業展開ができるよう工夫している。 (4) 他者と関わり合う材料となる「実験」「課題」などを配置し、深い学びや社会との連携を考えられる工夫をしている。 (5) さし絵・写真・図表等を、説明を付しながらコンパクトに配置している。伝統的な工芸、新技術も幅広く取り扱っている。 (6) 各内容の終わりに「学習のまとめ」を儲け、チェック項目による確認や、技術の仕組み・工夫の評価、学びを深める発展的なまとめができる工夫をしている。
全体的な特色	○　技術と産業との関わりを随所に掲載し、技術を学ぶことのよさを実感し、勤労を重んずる態度を養う工夫をしている。 ○　実習を行う際は、科学的な原理・法則などをふまえて計画・設計し、具体的なものが創造できるよう工夫している。 ○　さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、本文の書体はＵＤフォントを使用している。自分が作業するアングルで撮影した写真や図版により、製作の流れが詳しく分かるよう配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　技術・家庭(技術分野)　]

発行者名 選定基準	教育図書 (New　技術・家庭　技術分野　明日を創造する)
教科の目標からの配慮	○　見開き一頁で「見つける→学ぶ→ふり返る」の学習の流れで、自己評価して深められるよう配慮している。 ○　製作の内容を、設計・計画の流れを各編共通で４ステップにまとめることで、生徒が問題解決の力を養えるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)「社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の３要素に沿って系統的に配列している。 (2) ガイダンスや各章の題材構成が、「見つける」「学ぶ」「ふり返る」等の身近な問題から、生活を工夫し、創造することができるよう工夫している。 (3) 生活を実感的にとらえるために「スゴ技」「技ビト」「資料」などで興味・関心をもった追究ができるよう配慮している。 (4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、巻頭に示したり、文中に「安全マーク」「衛生マーク」で記したりして、安全に作業できるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 学習の項目の冒頭に他教科や小学校とのリンクマークを設け、教科間・学校種間の連携が高められるよう配慮している。 (2)「環境マーク」「共生マーク」を配することで環境への意識を高め、持続可能な社会に対応していく態度が身に付くよう配慮している。 (3) 各編を、「つくって学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」で構成し、学習の流れを積み重ねることで学びを深めていけるよう工夫している。 (4) 生徒がイメージしやすい発問を生徒同士や生徒と教師による対話形式で掲載するとともに、本文を３文構成にして、深い学びの工夫や社会との連携を考えられるよう工夫している。 (5) 付属（別冊）のハンドブックに、安全に実習を進めるための情報が掲載されていて、実習時に活用できるよう工夫している。 (6) 各編の１章、２章の終わりにまとめのページが配置され、各編の終わりには３つの観点毎にまとめ問題が配置されており、学習した内容を振り返ることができるよう工夫している。
全体的な特色	○　導入で簡単な題材を製作することで、製作することの喜びや技術を学ぶことの良さを感じられるような工夫している。 ○　多様な題材を掲載し、手順を分かりやすく示すことで、興味・関心をもって追究できるように工夫している。 ○　さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、本文の書体はＵＤフォントを使用している。実習例などを見開き２頁で大きく表示し、左から右へ製作の流れが詳しくわかるよう配慮している。

【 技術・家庭（家庭分野） 】

東京書籍
教育図書
開隆堂

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　技術・家庭(家庭分野)　]

発行者名 選定基準	東京書籍 （新しい技術・家庭　家庭分野　自立と共生を目指して）
教科の目標からの配慮	○　実践的・体験的な活動や「いつも確かめよう」で確認することで、基礎的な知識や技能を身に付けられるよう配慮している。 ○　ガイダンスや各編の導入で生活の営みに関する見方・考え方を例示し、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 衣食住の身近な内容を前半に配置し、小学校での学習内容を生かし発展的な学習ができるように題材を配置している。 (2) 「話し合ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」等を設け、身近な生活の問題を提示し、「まとめてみよう」「生活に生かそう」で生活を工夫、創造するような題材の構成を工夫している。 (3) 「活動」で提示された実践的・体験的な活動を通して、生徒が興味・関心を持って追究し、家庭生活を実感的にとらえられるよう配慮している。 (4) 巻頭の「実習を楽しく安全に進めよう」や「いつも確かめよう」、各内容の実習例に「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、安全面や衛生面への注意が喚起されるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 巻頭のガイダンス、「生活の営みに係る見方・考え方の例」「リンク」などで学習内容との関連を図るように配慮している。 (2) 各編の「資料」の図表や「せいかつメモ」など、身近な生徒の問題や地域の行事等で活用できるように工夫している。 (3) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせる発問を設け、実践的・体験的な活動を通して、主体的・対話的に学習できるように工夫している。 (4)「やってみよう」「考えてみよう」で個別や集団で課題を追究し、「活動」で家庭実践に発展できるように配慮している。 (5)内容に焦点化したさし絵・写真・図表等で、生徒が興味・関心をもって生活の課題を考えられるよう配慮している。 (6) 基礎的内容を「まとめよう」「自己評価」でスモールステップで振り返り、各編の「学習のまとめ」で評価の観点が明確になるよう工夫している。
全体的な特色	○　「家族・家庭の基本的な機能」「生活の営みに係る見方・考え方」の例で学習内容との関連が明確になるように工夫している。 ○　生活での実践に必要な基本的技能を「いつも確かめよう」で繰り返し確認し身に付けられるよう配慮している。 ○　各内容や説明に関連した鮮明な実物大の写真、折り込み頁、図表やイラストが豊富で、ルビの大きさや色などの見え方への配慮など生徒の内容理解や学ぶ意欲を高めるような工夫をしている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　技術・家庭(家庭分野)　]

発行者名 選定基準	開隆堂 （技術・家庭　家庭分野　生活の土台　自立と共生）
教科の目標からの配慮	○　「考えてみよう」「話し合ってみよう」「発表しよう」で、学習を焦点化し、実践的・体験的な活動を通して生活に必要な基礎的知識や技能を身に付けられるよう配慮している。 ○　「先輩からのエール」や「参考」で、学習内容と実生活や社会を結び付け、持続可能な生活を工夫し創造しようとする実践的な態度が育つよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 「小学校での学び」の振り返りから学習の繋がりを意識させ、知識･技能の深化や実生活への活用が促進されるように題材の配列を配慮している。 (2) 家庭や地域の身近な生活から問題を想起させ、どのように課題解決をしていくか具体的な例示をし､自ら生活を工夫創造できるように題材の構成を工夫している。 (3) 「実習例」や「製作例」を提示し、生徒が興味・関心をもって追究し、家庭生活を実感的に捉えられるよう配慮している。 (4) 調理や製作では、安全面や衛生面への注意が喚起されるように「安全マーク」や「衛生マーク」を付ける配慮をしている。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 各題材を通して、家庭の機能や自立と共生、生活の見方・考え方を関連付けた学習となるよう配慮している。 (2) 「生活にいかそう」で家庭生活や地域の人々との関わりで活用できるよう配慮している。 (3) 生活に身近な題材を「実習例」や「題材例」に取り上げ、より実践的な見方、考え方ができるよう配慮している。 (4) 「考えてみよう」「やってみよう」で個や集団で課題を追究して学習を深め､「生活にいかそう」で実生活での活用ができるよう配慮している。 (5) 学習が促進されるように、わかりやすいさし絵、写真、図表を配置する工夫をしている。 (6)小題材ごとに「ふりかえり」を提示し､学習内容の定着が図れるよう配慮している。
全体的な特色	○　内容ごとに持続可能な社会の項目を設け、主体的に考え、実際に行動できるように内容を工夫している。 ○　「生活にいかそう」を提示し、学習内容が実生活ですぐに活用できるよう配慮している。 ○　文字はユニバーサルデザインフォントを採用して読みやすくし、鮮明でわかりやすい写真や図で内容の理解を促す工夫をしている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　技術・家庭(家庭分野)　]

発行者名 選定基準	教育図書 (New 技術・家庭　家庭分野　くらしを創造する)
教科の目標からの配慮	○　実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的知識や技能を身に付けられるよう配慮している。 ○　「学びを生かそう」で、繰り返し問題解決的な学習を行うことで、生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 簡易な手順の実習やロールプレイングなどを組み合わせ、生徒の生活実態等を踏まえた題材の配列を工夫している。 (2) 各章の導入の身近な生活の問題から「やってみよう」「学びを生かそう」の流れで、生活を工夫創造することができるよう題材の構成を工夫している。 (3) 「考えてみよう」「話し合ってみよう」にある実践的・体験的な活動を通して、生徒が興味・関心をもって追究し、家庭生活を実感的にとらえられるよう配慮している。 (4) 各内容実習例に「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、安全や衛生への注意が喚起されるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 「やってみよう」「学びを生かそう」で、実践的・体験的に身につけた知識や技能を関連付けて活用し、課題解決的な学習となるよう配慮している。 (2) 巻頭の折り込み頁の写真やイラスト、「学びを生かそう」で、家庭生活や地域の行事等に関連付けられるよう配慮している。 (3) 各題材の「見つめる」で生活の営みに係る見方・考え方の視点で生活事象を捉え、「学びを生かそう」で生徒が課題を選択して主体的・対話的に取り組めるよう配慮している。 (4) 「自立度チェック」「考えてみよう」で、個別や集団で課題を追究し、家庭と連携して学習を生活に生かせるよう工夫している。 (5) 身近な生活の課題解決や現代社会の課題の想起に活用できるよう、さし絵・写真・図表等の内容を工夫している。 (6) 各章の「ふり返る」で身に付いた知識・技能を確認し、章末の「学習のふり返り」で資質・能力の三つの柱に対応した観点に沿って評価できるよう配慮している。
全体的な特色	○　「学びを生かそう」等で学習過程を意識した実践を繰り返し、課題を解決する力が身に付くよう配慮している。 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「考えてみよう」等のワークを多数掲載し工夫している。 ○　各内容や説明に関連した鮮明な実物大写真、図表やイラストが豊富で、ルビの大きさや色などの見え方への配慮など生徒の内容理解や学ぶ意欲を高めるよう工夫している。

【 英　語 】

東京書籍
開隆堂
三省堂
教育出版
光村図書
啓林館

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　英語　]

発行者名 選定基準	東京書籍（NEW HORIZON　English Course）
教科の目標からの配慮	○　各単元の初めに視覚的に場面設定を捉える工夫がされており、目的・場面・状況などに応じ様々な話題について伝え合う言語活動を設けている。 ○　文法や語彙などの理解を促すための説明が視覚的にわかりやすくまとめられ、活用する技能が身に付けられるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)　小学校での学びを振り返る単元や、各学年の接続をするための単元が設定されており、生徒が進級時の学習を円滑に進められるよう丁寧な配慮をしている。 (2)　日常的な話題や社会的な話題について、生徒が自分の考えや気持ちを話したり書いたりして表現する言語活動に取り組めるよう、単元の構成を工夫している。 (3)　英語を使ってクラスの友と自分の考えや気持ちを伝え合い、課題解決するような言語活動が設定されていることから、生徒の対話的な学習を促す構成となっている。 (4)　題材や物語の理解を促すさし絵に、配色や見やすさの工夫がある。また、学年に応じた書体やフォントを工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)　１学年の教科書前半は小学校の学習の接続が意識され、「聞くこと」「話すこと」に重点を置いた配列になっている。学年が上がるにつれ、段階的に各領域の言語活動が扱われるよう配慮している。 (2)　単元終末の「英文を読んでから書く」など領域統合的な言語活動に向け、各単元が段階的に指導できるよう配列を工夫している。 (3)　新出表現の導入では、使用する目的、場面、状況に生徒が気付きながら、自分の考えや気持ちを発信できるよう言語活動の構成に配慮している。 (4)　図表やグラフなどの視覚的補助を用いて「聞くこと」や「読むこと」の力を高める指導に配慮している。 (5)　巻末の学習到達目標で、各領域についての自己評価の観点を示し、生徒に自己評価を促すことができるようにしている。
全体的な特色	○　単元構成を系統的に積み上げ、生徒が英語を使う目的、場面、状況などに気付く導入を促すよう工夫している。 ○　物語や説明文など様々な英文について、読み取りの観点を設定し、概要から詳細の順に捉える読み方についてよく配慮している。 ○　教科書の大きさが A4 判で見やすくなっており、また、配色や学年に応じた書体を工夫している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　英語　]

発行者名 選定基準	三省堂（NEW CROWN ENGLISH SERIES）
教科の目標からの配慮	○　各単元が「見通し」「習得」「活用」「振り返り」の構成になっており、５領域の知識と技能の基礎を養える構成になっている。 ○　目的・場面・状況を明確にした対話文で、繰り返し言語活動を行うことを通して、思考、判断、表現を促すよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)　１学年では小学校の振り返りを扱っている。また、全学年において、生徒の発達段階に応じて段階的に英文・語彙量が増えていくよう工夫している。 (2)　各単元の導入で言語材料を理解し、定着を図る活動や、題材に関わって自分の考えを伝え合う言語活動の配列を工夫している。 (3)　生徒の興味・関心、発達段階に応じて、異文化理解、自然理解、社会理解、平和、日本の伝統文化などの多様な題材を配置している。 (4)　英文の内容理解を促すさし絵の掲載や、学年に応じた書体や文字の大きさを工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)　「見通し」「習得」「活用」「振り返り」という流れで単元が構成されており、複数の単元を学んだ後に設定されている特設単元により、生徒が既習事項を用いて表現する力を高める指導に配慮している。 (2)　生徒が各単元の前半で知識・技能を習得し、言語活動でリスニング力、対話力を身に付け、後半の特設単元で自分の考えを発信することができるよう、系統的な構成を工夫している。 (3)　相手とのやり取りの際、目的、場面、状況を明確にした対話文が配置されており、即興で伝え合う力を高める指導に配慮している。 (4)　各ページのレイアウトに統一感があり、５領域の扱っている重点項目や言語材料のポイントが明確になるよう工夫している。 (5)　単元終末の部分や巻末の特集等を通して、学習到達目標をシンプルに提示し、生徒に自己評価を促すことができるようにしている。
全体的な特色	○　題材が多様で生徒の興味・関心、発達段階に合わせたものであり、生徒の学習意欲を高めることを促している。 ○　生活に即した知識・技能の習得を目指し、看板やパンフレットなどから必要な情報を読み取る題材を配置している。 ○　単元構成やレイアウトに統一感があり、注目すべきポイントがわかりやすく、生徒が学びやすい工夫をしている。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　英語　]

発行者名 選定基準	啓林館（BLUE SKY）
教科の目標からの配慮	○　多くの地域・国々の話題に関わる詳しい情報に触れながら、生徒が主体的なコミュニケーションを図れるよう配慮している。 ○　各単元で日常的・社会的な話題についての理解を深める題材が配列され、特設単元で自らの考えを表現する構成になっている。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)　１学年では小学校での学びの接続を図る単元が設定されている。また、学年の後半に「読むこと」の力を高める単元を配列するなど、生徒の学習への抵抗感が少なくなるよう工夫している。 (2)　題材について自分の考えを深め、単元終末において、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を行う構成になっている。 (3)　単元終末に設定されている項目でも、題材や内容について詳しく扱うことで、生徒が興味・関心をもって学習できるよう配慮している。 (4)　英文の理解や練習活動を助ける写真やさし絵が配置され、新出表現の重要項目がわかるよう字体、配置を工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)　まとまりのある英文を読んで理解を深め、単元の終末でテーマに沿った発信をすることで、生徒の表現力を高めることができるよう配慮している。 (2)　単元の前半部分でさし絵や写真などを参考に言語材料を理解したり練習したりして定着を図り、後半の特設単元で自分の考えや気持ちを伝え合う活動を行うよう、構成を工夫している。 (3)モデル文をもとに自分の考えや気持ちを整理する段階が示され、まとまりのある英文で表現する力を高める指導に配慮している。 (4)　「読むこと」の指導をする際、写真や表、さし絵が生徒の理解を促すよう工夫している。 (5)　学習到達目標が掲載され､生徒が単元のはじめで具体的な目標を確認してから学習に取り組めるよう配慮している。
全体的な特色	○　各単元の冒頭に単元の目標や題材に関した問いなどが示され、生徒が見通しをもって学習に臨めるよう配慮している。 ○　生徒にとって身近な題材や関心を高める話題、活用しやすい日常表現が提示され、自己表現を促すよう工夫している。 ○　配色、書体、文字の大きさに工夫があり、学習項目のレイアウトが統一され、生徒が学習しやすいよう配慮している。

様式Ｂ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科名　　[　英語　]

発 行 所	主　な　特　色
開隆堂 （SUNSHINE ENGLISH COURSE）	○　新出表現の理解や技能を身に付けることを促すように言語活動が配置されており、生徒が技能を活用しやすい構成になっている。 ○　全体的な配色や各単元のとびらの大きな写真、学年に応じた書体を工夫し見やすくするなど、生徒が学習することを促しやすくしている。 ○　新出表現を漫画で提示し、生徒が言語の働きや使用場面を視覚的に理解できるよう配慮している。また、単元の題材について、英語で即興的にやりとりする活動を配置するよう工夫している。
光村図書 （Here We Go!）	○　各単元の導入時に目標を、終末時にふり返りを提示し、４技能５領域を適宜配分して言語活動・活用を行うことで、技能の定着が図れるよう配慮している。 ○　登場人物の中学生が３年間を通して成長していくストーリー構成となっており、生徒が自分のことから身の回りのこと、社会や世界のことへと視野を広げながら学習できるよう工夫している。 ○　語彙や文法事項などの言語材料について識別しやすい配色、形の配慮や、学年に応じた書体を使うことで、生徒が読みやすく書き取りしやすい配慮をしている。
教育出版 （ONE WORLD English Course）	○　社会的な題材を言語活動と関連させて提示し、生徒が相手意識をもちながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するよう配慮している。 ○　単元ごとの色の統一感、活動や状況別の字体・書体の使い分けや、話し手ごとの吹き出しの色分けがあり、生徒が学習する際、見やすく読みやすいよう配慮している。 ○　基本的な知識・技能の育成を目指す段階から相手を意識したコミュニケーションの段階まで、４技能５領域の活動が総合的に配置され、生徒が段階的にそれぞれの力を養える構成となっている。

【 道　徳 】

東京書籍
教育出版
光村図書
日本文教出版
学研教育みらい
廣済堂あかつき

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年　７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　道徳　]

発行者名 ＼ 選定基準	光村図書（きみがいちばんひかるとき）
教科の目標からの配慮	○　教材末の「見方を変えて」では、考えてきたことと違う切り口で問いを設定し、多面的・多角的に考えられるよう工夫している。 ○　他教科や日常生活、他教材と関連させながら、自己を見つめ、さらに深く考えたり行動につなげたりできるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) ３シーズンの中で発達段階に応じたユニットテーマを設け、生徒の問題意識や学校生活とリンクできるよう配慮している。 (2) 詩やマンガ、図表、対話文、新聞記事など多彩な教材、４Ｐ以内の資料が多く、短時間で内容を理解できるよう工夫している。 (3) 自己を見つめながらそれを具現化していけるような問いを設定し、主体的、多面的・多角的に考えられるよう工夫している。 (4) 特設ページ「深めタイム」では役割演技や見方を変える問いから行為をとらえ、多面的・多角的に考えられるよう工夫している。 (5) 物語ではイラスト、ノンフィクション教材には写真を用いて、具体的な場面をイメージしながら読めるよう工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 学校生活などの身近な教材から、発達段階に応じて内容に広がりを持たせ、３つのシーズンを系統的、連続的に指導できるよう配列を工夫している。 (2) いじめや共生、キャリアなどさまざまな現代的な課題の教材を取り上げ、コラムや巻末の付録などを活用し、教科との関連性を意識しながら指導計画を作成できるよう配慮している。 (3) 教材末に吹き出しでめあてを提示し、それに迫る問いや視点を変える問い、日常化や一般化するための問いを設け、見方・考え方を働かせた学習指導ができるよう配慮している。 (4) 内容理解のための写真や挿絵を適切に配置し、教材にＱＲコードを多く設け、朗読や動画、補助的資料などのデジタルコンテンツを用いることで、視覚的に捉えられるよう工夫している。 (5) 巻末の「学びの記録」では、シーズン毎にシートを分け、毎時間の学習の記録を記述できるようにし、生徒の心の成長の様子を把握できるよう工夫している。
全体的な特色	○　多彩な文体の教材を使用し、挿絵や写真を効果的に配置し、生徒の興味・関心を高め主体的に取り組めるようよく工夫している。 ○　主体的、対話的にかかわるための場面設定や多面的・多角的に考えるための活動や発問を随所に工夫している。 ○　ＵＤ書体、カラーＵＤを採用し、薄い色づかいのイラストや４視点で見出しを色分けするなど配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年　７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　道徳　]

発行者名 ＼ 選定基準	東京書籍（新しい道徳）
教科の目標からの配慮	○　教材末に「自分を見つめよう」を設定し、今までの自分を見つめ直し、学んだ道徳的価値の一般化を図れるよう配慮している。 ○　さまざまな分野で活躍する人物や現代的課題の資料から、人間としての生き方について考えを深められるよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 学校生活やさまざまな分野で活躍する人物教材を多く配列し、発達段階に応じて興味をもって取り組めるよう配慮している。 (2) 詩やマンガ、新聞記事などの教材や見開き２Ｐ以上の資料が多く、大きな挿絵や写真を使い、興味深く読めるよう配慮している。 (3) 自己を見つめる発問を設け、話し合いの手引きやホワイトボード用紙を使い、主体的、対話的に学習できるよう工夫している。 (4) 内容を広げるコラムや役割演技の学習「ＡＣＴＩＯＮ！」から、体験を通して多面的・多角的に考えられるよう配慮している。 (5) 色鮮やかな絵や写真を掲載することで、生徒が興味・関心を高めながら学習できるよう工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) ２８のテーマ教材と５つの付録教材を使って、生徒の興味・関心や発達段階に合わせて、系統的・連続的に指導できるよう配列を工夫している。 (2) いじめや福祉、国際理解などの６つの現代的課題と学校生活などの身近な教材を配列し、教科との関連性を意識した指導計画を作成できるよう配慮している。 (3) 道徳的価値に触れた後に、自己を振り返るような問いが設けられ、多面的・多角的に考え友と意見交換を行って問題解決を図る学習となるよう工夫している。 (4) イメージを印象づけるために写真を多く使い、裏表紙のＱＲコードからデジタルコンテンツを見せることで、授業中、生徒の興味・関心を高めることができるよう工夫している。 (5) 教材中のつぶやきや書き込みシート、巻末の振り返りシートでの自己評価を通して、生徒の学びや成長を把握できるように配慮している。
全体的な特色	○　ＡＢ版の大きさを生かして、見開きいっぱいのイラスト教材や写真や挿絵を使い、生徒の興味・関心を高めるよう工夫している。 ○　対話的な学びが深まる話し合いの手引きを示し、自己を見つめる問いから、多面的・多角的に考えられるよう工夫している。 ○　ＵＤフォント、色覚特性に適応するデザインを採用し、大きめのイラストや見出しを４視点で色分けするなど配慮している。

様式Ａ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年　７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科用図書調査研究員会

教科名　　[　道徳　]

発行者名 ＼ 選定基準	学研教育みらい（明日への扉）
教科の目標からの配慮	○　キーフレーズから教材に興味をもち、考えを深める４つのステップで課題に対して主体的、対話的に学べるよう配慮している。 ○　教材に関連した情報「クローズアップ」を提示し、生徒の視点を変えることで、多面的・多角的に考えられるよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 日常生活にかかわる教材と現代的課題とを配列し、生徒が発達段階に応じて学習が進められるよう配慮している。 (2) マンガや図表、詩などの教材や見開き２Ｐ以内の教材が多く、短時間で内容を理解できるよう配慮している。 (3) 特設ページ「深めよう」では、役割演技の活動や話し合いを位置づけ、主体的、対話的に考えられるよう配慮している。 (4) 視点や内容の違う関連情報「クローズアッププラス」で、多面的・多角的に考え、生き方の選択肢を増やせるよう工夫している。 (5) ＡＢ版で、見開きから資料が始まり、大きなスペースを使い写真や挿絵を入れ、興味・関心高く学習できるよう工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) ３年間を通じて読み物教材以外にも多様な教材を提示し、生徒の実態や興味・関心に応じて系統的に学ぶことができる学習過程となるよう配列を工夫している。 (2) 「生命尊重」と「いじめ防止」を重点テーマとして取り上げ、多くの教材を掲載しているので、生徒の実態や発達段階に応じて指導計画を作成できるように配慮している。 (3) 主題名を明示せず、自己を見つめよりよい生き方について考えられるような問いを設け、生徒が多面的・多角的、主体的に考える授業となるよう工夫している。 (4) 授業中、目次のＱＲコードから見ることのできるデジタルコンテンツや写真、挿絵を使うことで、生徒が教材の場面をイメージしたり内容を捉えたりすることができるよう配慮している。 (5) 教材中のメモ欄や書き込みシート、学期毎に記述する巻末の学びの記録や自己評価欄から、生徒の学びや成長を把握できるよう配慮している。
全体的な特色	○　ＡＢ版を採用し、見開きの大きさを生かして、写真や挿絵などを配置し、生徒の興味・関心を高めるよう工夫している。 ○　考えを深める４つのステップや４つの問いを示し、主体的、対話的な学びや体験的な活動ができるよう工夫している。 ○　ＵＤフォント、カラーＵＤを採用し、見出しには同系色２つを使って４視点で色分けするなど配慮している。

様式Ｂ

令和３年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和２年　７月２０日

学校区分　　[　中学校　]

教科名　　[　道徳　]

発 行 所	主　な　特　色
教育出版 （とびだそう未来へ）	○　学びの道しるべの問いをもとに話し合い活動やグループ追究を行うことで、主体的・対話的に学べるよう配慮している。 ○　場面を捉えやすい挿絵や印象的な写真などを使いながら、興味をもって学べるよう配慮している。 ○　「いじめ」や「命」の学習では、複数教材で考えを深めるユニットを組み、多面的・多角的に学べるよう工夫している。
日本文教出版 （あすを生きる）	○　「自分に＋１」の発問から、生徒が学んだ道徳的価値をこれからの自分の生き方にどう生かすかを考えられるよう配慮している。 ○　白を基調としたシンプルなデザインの中に、マンガや写真、挿絵を使い、生徒の興味・関心を高めるよう工夫している。 ○　いじめや社会共生、伝統文化を考える際、「プラットホーム」の教材と関連づけて、多面的・多角的に学べるよう工夫している。
廣済堂あかつき （自分をみつめる） （自分を考える） （自分をのばす）	○　学習の手がかりから、学びの道筋をとらえ、「考えを広げる・深める」発問で価値や行為の意味を見つめられるよう配慮している。 ○　経年変化の比較した写真、生徒新聞、直筆の回想録などの資料を用い、効果的に情景や心情が伝わるよう工夫している。 ○　いじめ、生命、情報をキーワードに、生徒の葛藤や逡巡が生まれるよう教材を配置し、多面的・多角的に学べるよう工夫している。